

関西ハーモニカ連盟会報

ハーモニー

Harmony



203

2015年4月

ドレミちゃん
© 関西ハーモニカ連盟 2011

関西ハーモニカ連盟 組織 2015年3月15日現在

会 長 仲村 眞 〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東 1-7-15 フォルム帝塚山 309 号
TEL 06-6674-0152 FAX も同じ

理 事 長 吹上晴彦 〒602-8488 京都市上京区真倉町 757-107
TEL 075-411-1531 FAX も同じ

副理事長兼事業部長 梁木 進 〒599-8116 堺市東区野尻町 192-20
TEL 072-284-8808 FAX 072-286-4890

事業部長補佐 常任理事 (以下役職名省略) 岩本洋之、内田常雄、金丸寿夫、喜多創平
坂田利雄、竹本雅英、保理江元子

副理事長兼事務局長 村上博昭 〒630-0141 生駒市ひかりが丘 1-13-20
TEL 0743-79-9559 FAX も同じ

事務局長補佐 角野まゆみ

編 集 局 長 もり・けん 〒594-0041 和泉市いぶき野 4-1-4-209
TEL 0725-57-7235 FAX 06-6353-1393 (会報の原稿は会報編集室まで)

連盟会報編集室 (会報の原稿の送付先、会報誌に関する問い合わせ等) もり・けん、浅井瀧子
harmonica@cardandmedia.co.jp
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F H・U・N企画内
TEL 06-6352-8005 FAX 06-6353-1393

編集局長補佐 田口幸輝

研 修 部 長 小林由美子 〒662-0046 西宮市千歳町 7-42
TEL 0798-22-1844 FAX も同じ

研修部長補佐 浅井瀧子、住田陽子、永野富康、西本豪介、丸山茂生

組 織 部 長 梅田恒弘 〒611-0021 宇治市宇治塔川 3-11
TEL 0774-21-2373 FAX 0774-39-5506

組織部長補佐 松岡郁子、渡辺晃志

会 計 部 長 柴田正之 〒654-0013 神戸市須磨区大手町 5-3-1
TEL 078-734-5157 FAX も同じ

会計部長補佐 新山ミツ子

理 事 (五十音順) 浅田道一、浅見満夫、新井尚子、飯塚昭、稲垣裕子、井上純一
上垣博子、小川未佐子、尾崎雄三、小野浩子、金谷輝夫、鐘ヶ江義行、木ノ山洋子
木原淳、斉藤正勝、佐藤 長、園真佳、高阪他美子、高山美千代
竹内寿子、谷正雄、谷口昌子、辻田鑑三、辻部暁子、戸田秀徳、富久鉄男
仲井治夫、中谷晃、中西富佐男、中村あけみ、野村俊夫、羽原伸示
早川直也、林和子、林一義、原田和春、原田忠雄、福島隆志、藤本勇、藤原延之
松川義明、松本千佳子、道下雅之、光野利一郎、山口昌代、和谷篤樹、渡邊義明 47名

会 計 監 査 松井千春

常 任 顧 問 (五十音順) 大石喜一郎、岡谷秀喜、後藤貞男、笹山恵司、田中祥雄、寺村安雄
村上浩一、吉村則次 8人

顧 問 (五十音順) 入江章次、岡村貞彦、楠 陽児、西田幸司、村田 潤渡辺 昇 6人

特 別 顧 問 (五十音順) 甲賀一宏、斎藤寿孝、十河陽一、徳永延生、森本恵夫、和谷泰扶 6人

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <http://www.glayva.net/kansai.htm>

入会のご案内 組織部長

入会金：1000円 (団体は1団体1律1000円)

年会費 (1月から12月)：

個人会員 5000円、地域外個人会員 5000円、準会員 (30歳未満の方) 1000円

団体会員 (5名以上の団体で1名につき) 1000円、賛助会員 10000円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

ハーモニカが好きなら、吹く方、吹かない方、上手な方、下手な方、上手になりたい方、ニュースだけほしい方等、どなたでも入会できます。



関西ハーモニカ連盟会報 **ハーモニー 第203号** (2015年4月号)

発行部数 600 毎年 4、7、10、1月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)

表紙写真はフリーカメラマン萩野さんのお孫さんたちと、あけぼの・保育学院の子どもたちの合奏。

2015年 定時総会挨拶	理事長	2
2014年 会費・入金入金明細	会計部長	3
2015年 定時総会報告	事務局長	4
関西ハーモニカ連盟組織	事務局長	5
2014年度一般会計決算	会計部長	6
第25回関西ハーモニカ祭り・決算	会計部長	7
合宿交流会決算	会計部長	8
2014年度 研修会収支報告	研修部会計	9
第10回 西日本ハーモニカコンテスト・決算	会計部長	10
関西ハーモニカ連盟 特別会計元帳	会計部長	11
当連盟 2015年度総会写真	事務局	12
ハーモニカカレンダー	編集局	16
2015年度 研修会へのお誘い	研修部長	19
事務局便り	事務局	20
日本ハーモニカ芸術協会研修会開催速報	村上 博昭	20
2015年楽典基礎勉強会のご案内	村上 博昭	21
2015年新春ハーモニカコンサート見聞録	村上 博昭	22
教室だより ハーモニカ・ソサエティー with YOU	源馬 英人	23
教室だより 私のハーモニカ教室について	坂田 利雄	24
教室だより みのりっちハーモニカ教室	光野利一郎	25
教室だより 和歌山ハーモニカクラブ	加門 信志	26
トゥーツ・シールマンズのLPが10枚も	吉村 則次	27
黒檀製のクロマチック・ハーモニカ	吉村 則次	27
あれから20年! 中央公会堂でのコンサート	吉村 則次	28
ハーモニカコンサートのチラシ	吉村 則次	29
キム・ピヨンソップさん達、都へボランティア演奏に	寺村 安雄	30
2014年クリスマスコンサート クラリネット大川真一郎さんと共演	もり・けん	32
西日本コンテスト優勝者も演奏 徳永教室発表会	吉村 則次	33
2015年 童謡伝道高知からスタート	もり・けん	33
ハデコン・コンサートについて	梁木 進	34
吹いて、歌って、笑って!! 笑って!!もり・けん先生と枚岡神社で	岩本 洋之	35
新春ハーモニカコンサートの開催について	坂田 利雄	36
小林旭も歌っていたハーモニカの詩 ほかにもあったハーモニカの歌	吉村 則次	37
写真撮影時間を設けた南里沙コンサート	吉村 則次	37
温故知新 巴里祭・モンパパ	寺村 安雄	38
ハーモニカは楽器ではないのか 分類も難しいハーモニカ	吉村 則次	40
ハーモニカが上達するための大切なこと (58)	池田 輝樹	42
兵庫県声の囀赤十字奉仕団主催第25回交流会に参加して	澁山 晴夫	44
韓国交流旅行のご案内	梁木 進	45
第四のハーモニカ横丁発見	吉村 則次	46
ジョー・パワーズが大阪に	吉村 則次	47
ハーモニカ川柳	吉村 則次	47
ハーモニカ「セソナ」演奏会 他	新聞記事提供	48
ポコ・ア・ポコが紅葉コンサートに!!	和田 惟男	49
訃報 織田太郎さんご逝去	村上 浩一	50
訃報 酒巻勇二郎さんご逝去	山本 健司	50
編集局便り 「遠くへ行きたい」	編集局	51
編集後記	もり・けん	52

2015年 定時総会挨拶

理事長 吹上 晴彦



理事長の吹上です。よろしくお願ひ申し上げます。

毎年、2月11日は関西では最も寒さの厳しい日です。この数日の寒の戻りがありましたが、本日は穏やかな日となりました。多数ご参集いただきありがとうございます。

総会でご挨拶させていただきますのも、4回目となります。皆様のおかげをもちまして、関西ハーモニカ連盟も発足して35周年を過ぎ40周年に向かっています。会員は、日を追うごとに増えて昨年末で1150名、地域のハーモニカ愛好団体としては国内最大規模でしょう。ちなみにハーモニカの消費量は大阪が日本一というデータもあるようです。

時に私は、唐突な課題提案や物言いをして、本会の内部、外部から叱咤されることがあります。その叱責に応えるための課題も、まだ多く残されています。

今年より常任理事会の1～2週間前に部局長会議を開くようにします。これは、顧問の先生方のご意見を聞く会議でもあり、部局長の総意を一つにして、常任理事会では少しでも常任理事のご意見を聞き、常任理事会の円滑な運営と充実を図るためです。

さて、今年で阪神淡路大震災から20年が過ぎました。当時、ボランティア活動団体に籍を置いていた私は、特別通行車両に乗り、現地で1800食の豚汁と焼きそばの炊き出しを仲間と深夜から行いました。いま建築を生業に、特に耐震事業に力を入れています。それにもかかわらず、20年たって初めて、今更ながらですが、1月17日神戸東遊園地での追悼式場に参りました。東日本大震災の追悼スペースもあり、2011年に東北現地視察した時の思いと相まって、手を合わせ黙祷すると、この間の歩みは、これで間違いがなかったのかと、気分は大きく、深く沈みこみました。

1995年は、ハーモニカ渡来100周年にもあたり、関西ハーモニカ連盟においても大阪市中央公会堂で記念イベントを開催した年でもあります。私自身にとっても忘れられない節目の年でした。1957年からハーモニカの教えを受けた蔭山孝太郎先生が亡くなられたのが1995年。震災で家屋が全壊して、京都に仮住まいされていた故 小林忠夫先生とお近づきにさせていただいたのが1995年。私の感覚では師と仰ぎ、指導を受ける先生は、当然のことながら一人だけなのですが、忠夫先生は蔭山先生という一人の先生に生涯、指導を受け続け、仕えたことを重んじられ、師を失った私に指導の手を差し伸べていただきました。その後、忠夫先生が亡くられるまでアンサンブルを組み、近しく指導を受けました。忠夫先生亡きあとは、小林由美子先生に師事しています。

このようなことを申し上げたのは、年末掃除のおり、古い連盟会報1996年4月第127号に寄稿した蔭山先生への追悼文を目にしたからです。その1ページの内容に、こう書いています「……手ほどきを受けた当時は40才代の恐い先生であり、最後のお別れをした時は、かたくなまでハーモニカ（特に複音）に対して

のこだわりを持ち続けた明治男の気概を感じさせていた頑固おやじでした。ハーモニカ音楽に対する取り組み方は一途なものがあり、学ぶ側はその姿を見て習うといった方が的確かもしれません。……」この当時のハーモニカ音楽に対する想いが甦り、今も変わっていない自分に安堵しています。

誰でも吹けるハーモニカですが、誰もができないのがハーモニカ演奏です。私は、40年以上建築を生業にしています。その分野の教育専門機関で設計や製図を指導することがあります。設計法や製図法をマスターできても建築作品はできません。建築現場や幅広い芸事の経験が練に現れ、作品に変わっていきます。このことは、わかる人は言われなくても感じ取れ、感じられない人は、言われてもわかりません。

「積み重ねる量がヒットを生む」と言ったプロのマーケターがいます。「日に鉄砲2000回、四股400回、同じことの繰り返しで精神を鍛える」と言った大横綱。ハーモニカ音楽も同じで、思っている時間の多さ、繰り返し。方法論は同じでも響き方が変わり、表現されるものは同じではありません。音楽の価値観には、自由、

勝手な解釈ではなく、絶対的に正しいものがあります。クラシックが正しくて、艶歌が悪いということは決してなく、艶歌で良いもの、クラシックで悪いものもあります。「多くの人がそれを聴いて、心地よくなる。これが音楽です！」そのように言われ、今も指導を受けています。

毎年、総会挨拶の締めくくりに同じ内容を言い続けています。建築様式には和洋折衷様式というのがありますが、折衷というのは和式と洋式を合わせて2で割ったものではありません。和風の良いところと洋風の優れた部分を取り入れて、和洋どちらでもない、どちらにもない素晴らしいものを組み上げることです。それぞれの優れたところをまとめ、一つにすることです。関西ハーモニカ連盟でいうならば、本会の会員はハーモニカ音楽を楽しみたい素人の方がほとんどですが、特別顧問をはじめ、プロの音楽家や音大出身者もおられます。音楽を専門職としている方の言葉に耳を傾け、取り入れ、形にして、本年もハーモニカ演奏において、聴く人に少しでも品性と魅力を感じていただけるような努力をしてもらいたいと願います。

本日はありがとうございました。

2014年度 会費・入会金入金明細

関西ハーモニカ連盟
会計部長 柴田正之
2014年10月13日

	人数	会費	計	入会金	合計
個人会員	281	5,000	1,405,000	25,000	1,430,000
準会員	5	5,000	5,000	3,000	8,000
賛助会員	5	10,000	50,000	0	50,000
団体会員	851	1,000	851,000	17,000	868,000
			2,311,000	45,000	2,356,000

2014年10月13日のハモ祭り以降の入金は2015年度の会費

2015年度 定時総会報告

関西ハーモニカ連盟
事務局長 村上博昭2015年2月11日 大阪市西区 徐園 において定時総会が開催されました
仲村会長、吹上理事長挨拶のあと、次の事項が報告され決定しました

1号議案2014年度(前年度)事業報告

事務局長より 総会、常任理事会(8回)の実施報告
連盟後援行事の報告(11件)

組織部長より 会員異動報告

	会員数	内賛助会員	加入者	再加入者	退会者	前年度
個人会員	294	5	29	3	37	298
準会員	5					4
団体会員	862 (89団体)					706 (57組)
合計	1,161					1,008

- 事業部長より
- ①2014年8月23日 第9回西日本ハーモニカコンテスト 会場 堺 サンスクエア 堺
予選7部門 応募者43名(組) 本選 出場者32組
 - ②2014年9月27・28日 ハーモニカ合宿交流会 会場 新大阪コプロラザ
宿泊者 48名 日帰り参加 57名 合計 105名
研修講座 11講座
 - ③2014年10月12日 関西ハーモニカ祭り 会場 奈良100年会館
ハーモニカ祭り出場者 64組 (ソロ 21名、アンサンブル43組)
(13日は台風で中止)

研修部より 研修会 4回実施

研修会	開催日	内容
第1回	2014年5月25日	聞いて得するハーモニカの基礎学習 和谷察扶
第2回	2014年7月27日	アンサンブルの基本とソロの公開レッスン:小林由美子
第3回	2014年9月7日	誰にでもわかる音楽基礎理論・編曲 十河陽一
第4回	2014年11月9日	ブルースハーモニカ 松田幸一

編集局長 会報の発行 年4回(4月・7月・10月・1月) 毎回 600部印刷

2号議案 2014年度収支決算報告書承認の件

会計部・
会計監査より 2014年度決算および会計監査報告があり承認されました

3号議案 理事選任の件

理事 新任 1名 佐藤 長(ひさし) 加古川市
会計監査 辞任 山本健司
新任 1名 松井千春

4号議案 2015年度 事業計画承認の件

事業部関連

事業名	開催日	場所
第6回 スプリングコンサート	2015年3月8日	大阪市 中央公会堂
関西ハーモニカ祭り	2015年10月3日4日	京都市 テルサホール

韓国・釜山交流旅行は関西ハーモニカ連盟有志主催とし 9月11日～14日実施

研修部より

研修会	開催日	内容	
第1回	2015年5月31日		愛日会館
第2回	2015年7月26日		愛日会館
第3回	2015年9月27日		愛日会館
第4回	2015年11月29日		愛日会館

5号議案 2015年度予算承認の件

会計部長 2015年度予算案の説明があり 承認されました

総会終了後の連絡事項

役員異動報告

理事 退任 今井康郎(自己都合)
神戸栄一郎(自己都合)
高瀬登一(自己都合)
高比良由郎(ご逝去)
酒巻勇二郎(ご逝去)
七井まゆみ(自己都合)
顧問 退任 織田太郎(ご逝去)

組織部長より御願い

新入会・会員継続手続きは 的確に!

- ①入会申込用紙に 入会金・年会費の振込証コピーを貼付してください。
- ②記入欄が空白のままのものがあります、全て記入願います。
- ③文字は丁寧に読み易く記入願います。
- ④団体会員も年度初めに更新手続きと 極力1月末までに会費を納入願います。
2月末までに入金なき場合退会扱いとなり 再入会のとき入会金が必要です。

2015年2月11日

関西ハ一モ二カ連盟 組織

★マークは新任者(当總會承認予定者含む)・昇任者 ☆マークは異動者です

会長	仲村 眞	〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東1-7-15 フォルム帝塚山 309号 電話 06-6674-0152 FAXも同じ	1人		
常 任 理 事	理事長	吹上 晴彦	〒602-8488 京都市上京区真倉町757-107 電話 075-411-1531 FAXも同じ	24人	
	副理事長 (兼)事業部長	梁木 進	〒545-0005 堺市東区野尻町192-20 電話 072-284-8808 FAX072-286-4890 (事業部長補佐) 常任理事(以下役職名省略)岩本洋之、内田常雄、金丸寿夫、喜多創平、坂田利雄、竹本雅英、保理江元子、		
	副理事長 (兼)事務局長	村上 博昭	〒630-0141 生駒市ひかりが丘1-13-20 電話 0743-79-9559 FAXも同じ (事務局長補佐) 角野まゆみ		
	編集局長	もりけん	〒594-0041 和泉市いぶき野4-1-4-209 電話 0725-57-7235 FAXも同じ (編集局長補佐) 田口幸輝、		
	研修部長	小林 由美子	〒662-0046 西宮市千歳町7-42 電話 0798-22-1844 FAXも同じ (研修部長補佐) 浅井瀧子、住田陽子、永野広康、西本豪介、丸山茂生		
	組織部長	梅田恒弘	〒611-0021 宇治市宇治塔川3-11 電話 0774-21-2373 FAXも同じ (組織部長補佐) 松岡郁子、渡辺晃志		
	会計部長	柴田正之	〒654-0013 神戸市須磨区大手町5-3-1 電話 078-734-5157 FAXも同じ (会計部長補佐) 新山ミツ子、(外部委託業者)		
	理事(50音順)	浅田道一、浅見満夫、新井尚子、飯塚昭、稲垣裕子、井上純一、上垣博子 小川未佐子、尾崎雄三、小野浩子、金谷輝夫、鎌ヶ江義行、 木ノ山洋子、木原淳、斉藤正勝、★佐藤長、園真佳、高阪他美子、 高山美千代、竹内寿子、谷正雄、谷口昌子、辻田鎮三、辻部暁子、戸田秀徳、富久鉄男、仲井治夫、 中谷晃、中西富佐男、中村あけみ、野村俊夫、羽原伸示、早川直也、林和子、林一義、 原田和春、原田忠雄、福島隆志、藤本勇、藤原延之、松川義明、松本千佳子、道下雅之、光野利一郎、 山口昌代、和谷篤樹、渡邊義明			47人
	会計監査	★松井千春			1人
	常任顧問(50音順)	大石喜一郎、岡谷秀吾、後藤貞男、笹山恵司、田中祥雄、寺村安雄、村上浩一、吉村則次			8人
顧問(50音順)	入江章次、岡村貞彦、楠陽児、西田幸司、村田潤、渡辺昇		6人		
特別顧問(50音順)	甲賀一宏、斉藤壽孝、十河陽一、徳永延生、森本恵夫、和谷泰扶		6人		

2014年度一般会計決算

自 2014年 1月1日 至 12月31日

関西ハーモニカ連盟

会計部長 柴田正之

2014年12月31日

内 訳	2014年度			増減		2015年度
	予算額	決算額				予算額
(収入の部)						
前年度より繰越金	①	2,808,970	2,808,970	0		2,727,492
単年度収入 a+b+c+d	②	2,249,500	2,357,386	107,886		2,341,500
会費収入(準個費団合計)	a	2,198,000	2,311,000	113,000	* 1	2,300,000
入会金(同)	b	50,000	45,000	-5,000		40,000
受取利息	c	1,500	1,386	-114		1,500
雑収入	d	0	0	0		0
合 計 ①+②	③	5,058,470	5,166,356	107,886		5,068,992
(支出の部)						
編集局費用 e+f+g	④	1,250,000	1,772,088	522,088	* 2	1,310,000
会報印刷代	e	800,000	1,174,764	374,764		850,000
発送費用	f	380,000	522,561	142,561		400,000
編集室維持管理費その他事務費	g	70,000	74,763	4,763		60,000
事務費 ⑥+⑦+⑧+⑨+⑩	⑤	451,000	666,776	215,776		646,000
理事会費用 h+i+j+k	⑥	306,000	555,662	249,662		521,000
運営及びコピー代	h	30,000	147,412	117,412	* 3	100,000
通信費・文房具その他事務費	i	5,000	920	-4,080		5,000
活動費	j	96,000	96,000	0		96,000
常任理事会等交通費	k	175,000	311,330	136,330	* 4	320,000
事務局費用 L+m	⑦	19,000	10,768	-8,232		13,000
通信費	L	4,000	2,895	-1,105		3,000
文房具その他事務費	m	15,000	7,873	-7,127		10,000
総幹部費用 n+o	⑧	70,000	48,306	-21,694		60,000
通信費	n	50,000	44,786	-5,214		50,000
文房具その他事務費	o	20,000	3,520	-16,480		10,000
交際費(慶弔金等)	⑨	20,000	16,040	-3,960	* 5	16,000
広報費(インターネット関連)	⑩	36,000	36,000	0		36,000
合 計 ④+⑤	⑪	1,701,000	2,438,864	737,864		1,956,000
単年度繰越(余剰)金 ②-⑪	⑫	548,500	-81,478	-629,978		385,500
次年度へ繰越金 ③-⑪	⑬	3,357,470	2,727,492	-629,978		3,112,992

* 1 会員 個人-9名 団体+146名

* 2 200号記念号+16万/5号分の経費

* 3 税理士への10万含む

* 4 常任理事増員

* 5 懇親会費・ゲスト分交際費より支出

領収書等精査の結果上記の通り相違ありません。

2015年1月21日

税理士

松井千春



監査の結果上記の通りと認めます。

2015年1月21日

関西ハーモニカ連盟

会計監査

山本健司



第25回関西ハーモニカ祭り・決算

2014年10月12日(13日) (13日は台風のため中止)
奈良100年会館

関西ハーモニカ連盟
会計部長 柴田正之
2014年12月31日



収入の部	今回		参 考					
	25回		25回(両日実施)		24回		23回	
	2014/10/12		12~13		2013/10/12~13		2012/10/27~28	
内 訳	決算額		決算推定額		決算額		決算額	
出演者分担金	(件)		(件)		(件)		(件)	
Ⅰソロ	19	114,000	61	366,000	61	366,000	53	318,000
Ⅱデュオ	0	0	2	16,000	5	40,000	6	48,000
Ⅲトリオ	1	9,000	2	18,000	3	27,000	2	20,000
ⅣアンサンブルA(4~6名)	15	150,000	25	250,000	17	170,000	20	240,000
ⅤアンサンブルB(7~10名)	6	72,000	16	192,000	18	216,000	18	270,000
ⅥアンサンブルC(11~15名)	11	154,000	18	252,000	20	280,000	19	380,000
ⅦアンサンブルD(16名以上)	10	150,000	17	255,000	14	210,000	17	408,600
ピアノ	3	9,000	4	12,000	3	9,000	0	0
応募計 ①	62	658,000	141	1,361,000	141	1,318,000	135	1,684,600
広告収入 ②		79,580		79,580		90,000		90,000
収入合計 ①+②		737,580		1,440,580		1,408,000		1,774,600

支出の部

内 訳	決算額	決算推定額	決算額	決算額
会場費合計	333,470	666,940	542,750	509,790
ホール使用料等総計	172,340	344,680	400,265	262,550
音響・照明人件費・設備使用料	161,130	322,260	142,485	247,240
プログラム印刷費	142,992	142,992	143,745	151,200
看板制作費	11,440	11,440	14,000	11,300
司会者人件費 (2人分)	50,000	60,000	60,000	60,000
関係者食事代等	25,380	50,760	44,244	39,630
交通費	43,780	87,560	54,400	111,860
諸費(コピー、郵送、小物等)	40,098	50,000	34,786	54,560
不慮の事故保険料	4,500	9,000	0	0
ゲスト演奏者に謝礼	0	20,000	0	15,000
打ち上げ懇親会費不足分補填	0	0	0	0
合 計	651,660	1,098,692	893,925	953,340

差引金額	85,920	341,888	514,075	821,260
------	--------	---------	---------	---------

豊中アケア 神戸オルピス

注 13日 台風のため中止。出演料返金 79組に703,000円。
決算推定額は両日実施の場合の推定

上記 差引金額 85,920 円は特別会計に繰り入れました。

領収書等精査の結果上記の通り相違ありません。

2015年1月21日

税理士

松井千春



監査の結果上記の通りと認めます。

2015年1月21日

関西ハーモニカ連盟

会計監査

山本健司



合宿交流会決算

2014年9月27日28日
新大阪ココプラザ

関西ハーモニカ連盟
会計部長 柴田正之
2014年12月31日



収入				
	参加費	人数	金額	
宿泊者参加費	12,000	48	576,000	注
27日日帰り参加費	3,000	36	108,000	
28日日帰り参加費	3,000	21	63,000	
27日昼食代	650	15	9,750	
28日昼食代	650	8	5,200	
27日夕食代	2,000	11	22,000	
追加参加・食事代			14,250	
返金			-10,000	1名キャンセル
合計			788,200	

支出				
ユース予約金			80,000	
ユース支払い			341,770	
会館使用料			107,000	室料、演奏会人件費等
講師謝礼			172,000	
司会謝礼			20,000	
諸費			49,283	
合計			770,053	

差し引き			18,147	特別会計に繰り入れ
------	--	--	--------	-----------

注 52名宿泊予定 内4名宿泊費免除 48名分入金
内1名キャンセル

領収書等精査の結果上記の通り相違ありません。

2015年1月21日

税理士

松井千春



監査の結果上記の通りと認めます。

2015年1月21日

関西ハーモニカ連盟

会計監査

山本健司



2014年度 研修会収支報告

関西ハーモニカ連盟 2014年12月31日

研修部会計

浅井瀧子

単位:円

実施日	5月25日	7月27日	9月7日	11月9日	合計
講師	和谷泰扶	小林由美子	十河陽一	松田幸一	
講習内容	聞いて得する ハーモニカの 基礎学習	アンサンブル の基本・ソロ演 奏の公開レッス ン	誰にでもわか る音楽基礎理 論・誰にでも できる編曲法	テンホールズ はバンドが命	

収入の部

連盟会員	61	61,000	63	63,000	47	47,000	39	39,000	210	210,000
非会員	7	14,000	1	2,000	2	4,000	2	4,000	12	24,000
欠席者			1	1,000	3	3,000	3	3,000	7	7,000
合計	68	75,000	65	66,000	52	54,000	44	46,000	229	241,000

支出の部

会場費	33,480	33,480	33,480	33,480	133,920
音響PA等			1,080		1,080
講師謝礼	60,000	30,000	40,000	120,000	250,000
懇親会費	4,000	5,000	5,300	10,600	24,900
お茶代	330	0	330	220	880
送迎代	2,060	1,800	1,940	3,520	9,320
資料コピー代	1,000	4,260	3,020	3,900	12,180
部員交通費	9,720	9,720	8,360	8,660	36,460
合計	110,590	84,260	93,510	180,380	468,740

差引金額	-35,590	-18,260	-39,510	-134,380	-227,740
------	---------	---------	---------	----------	----------

連盟より	110,000	30,000		100,000	240,000
残金					12,260

上記差し引き金額 227,740円 は特別会計から補填する事といたしました。

2015年1月21日

関西ハーモニカ連盟

会計部長 柴田正之

領収書等精査の結果上記の通り相違ありません。

2015年1月21日

税理士

松井千春



監査の結果上記の通りと認めます。

2015年1月21日

関西ハーモニカ連盟

会計監査 山本健司



会計部

第10回 西日本ハーモニカコンテスト・決算

2014年8月23日(土)
サンスクエア堺

関西ハーモニカ連盟
会計部長 柴田正之
2014年12月31日



収入の部

内 訳	今回		前回		参考
	10回		9回		今回-前回
	2014年8月23日		2012年8月25日		
	(件)	決算額	(件)	決算額	増減
ジュニアソロ部門	0	0	1	4,000	-4,000
ジュニア・アンサンブル部門	0	0	0	0	0
クロマチック・ソロ(クラシック)	4	23,000	6	40,000	-17,000
クロマチック・ソロ(ジャズ・ホビュラー)	8	58,000	8	56,000	2,000
複音トレモロソロ	21	114,000	27	141,000	-27,000
デュエット	2	20,000	3	34,000	-14,000
小アンサンブル	4	60,000	3	45,000	15,000
大アンサンブル	3	60,000	0	0	60,000
フリーソロ	1	5,000	1	5,000	0
応募計 ①	43	340,000	49	325,000	15,000
入場券売上 ②		360,000		510,000	-150,000
CD・DVD 売上 ③		12,000		0	12,000
収入合計 ①+②+③		712,000		835,000	-123,000
特別会計から補填 ④		362,058		70,066	291,992
合計 ①+②+③+④		1,074,058		905,066	168,992

支出の部

内 訳	決算額	決算額	増減
会場費	259,008	240,575	18,433
賞品代 盾等	172,806	96,736	76,070
審査員謝礼 交通費含む	345,000	330,000	15,000
司会者謝礼	30,000	10,000	20,000
その他謝礼	60,000	10,000	50,000
関係者食事代	38,072	29,705	8,367
交通費	42,680	73,060	-30,380
プログラム等印刷費	31,984	28,100	3,884
著作権料	0	0	0
諸費(コピー、郵送、小物等)	77,008	79,490	-2,482
不慮の事故保険料	0	0	0
打ち上げ補填	17,500	7,400	10,100
合計	1,074,058	905,066	168,992

サンスクエア堺

領収書等精査の結果上記の通り相違ありません。

2015年1月21日

税理士

松井千春



監査の結果上記の通りと認めます。

2015年1月21日

関西ハーモニカ連盟

会計監査

山本健司



関西ハーモニカ連盟 特別会計元帳

2014年12月31日現在

単位円

年度	項目	収入	支出	残高	備考
2013年度	打ち上げ懇親会寄付金・チャリティ分	20,000		3,720,718	
	打ち上げ懇親会援助金・チャリティ分		48,000	3,672,718	
	関西ハーモニカ祭り残高繰り入れ	514,075		4,186,793	
	交流バス旅行残高繰り入れ	9,149		4,195,942	
	2013年度研修会補填		81,750	4,114,192	
2014年度	西日本コンテスト補填		362,058	3,752,134	
	関西ハーモニカ祭り残高繰り入れ	85,920		3,838,054	
	合宿交流会残高繰り入れ	18,147		3,856,201	
	2014年度研修会補填		227,740	3,628,461	
	2015年早春コンサート会場費予約金		246,420	3,382,041	次年度資産
	同上 封等代		13,284	3,368,757	次年度資産
	同上 送料		840	3,367,917	次年度資産
同上 チラシ		162,000	3,205,917	次年度資産	
同上チ振込み料		432	3,205,485	次年度資産	

資産内訳

2014年12月31日現在

単位円

内訳	金額	内容	金額
一般会計預金	2,569,153	一般会計残高	3,941,492
一般会計手持ち現金	158,339		
一般会計2015年度会費等前受け金	1,214,000		
特別会計預金	3,205,485	特別会計残高	3,628,461
2015年度早春コンサート前払い金	422,976		
2015年度ハモ祭り会場予約金	0		
合計	7,569,953	合計	7,569,953

上記の通り相違ありません。

領収書等精査の結果上記の通り相違ありません。

2015年1月21日

監査の結果上記の通りと認めます。

2015年1月21日

関西ハーモニカ連盟

会計部長

柴田正之



税理士

松井千春



関西ハーモニカ連盟

会計監査

山本健司



当連盟 2015 年度総会

2015年2月11日(水・祝) 北京料理 徐園



仲村会長 あいさつ



吹上理事長 あいさつ





会長 理事長及び顧問の方々



総会出席者





井上純一さん



あらいなおこさん



全員で六甲おろしを合奏



☆☆ ハーモニカカレンダー ☆☆

2015年3月15日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局



月日	曜日	演奏者・演奏会の名称・他(敬称は略)	会場・お問合せ先
3月22日	日	梁木 進 複音初級・中級ハーモニカ公開レッスン 12:30~	新大阪ココプラザ 参加費 1,000円 誰でもお気軽にどうぞ。 問 梁木 072-284-8808
3月28日	土	13:30~ アニバーサリー 40周年 谷内暁子 リサイタル 寺村安雄 ゲスト出演	堺市 サンスクエア堺 入場料¥2,000
4月5日	日	新大阪ココプラザハーモニカコンサート 11:00~	無料 希望者飛び入り可 ゲスト演奏あり 問 梁木 072-284-8808
4月12日	日	14:00 寺村 安雄 バラエティーコンサート	アサヒスーパードライ(大阪 市北区梅田新道南) 入場料 ¥2,000 別途飲料代¥500 要
4月14日	火	村上浩一教室合同ハーモニカコンサート	兵庫県立芸術文化センター小 ホール(阪急西宮北口駅前) 問 尼崎ハーモニカエコーズ雑賀 健 Tel & Fax 0798 - 53 - 3980
4月18日	土	日本ハーモニカ芸術協会総会	東京 ニッショーホール
4月19日	日	全日本ハーモニカ連盟フォーラム	東京
4月19日	日	第16回ハモニ館まつり	ココプラザ 問 ハモニ館
4月26日	日	第4回「ハーモニカと唄う会」13:00~16:00 無料	会場 和歌山市中央コミュニ ティセンター 問 加門 073-455-9078
4月26日	日	梁木 進 複音中級・上級ハーモニカ公開レッ スン 12:30~	新大阪ココプラザ 参加費 1,000円 誰でも自由に参加 できます。問 梁木
5月1日 ~5日	金~ 火	山口朝子「母と子の子守唄」展にてコンサート 5/1(金) 19:00~オープニング 5/3(日) 14:00~子 守唄コンサート 5/5(火) こどもの日コンサート	展覧会・コンサートとも 入場無料 問 ふんふんさろん
5月2日	日	河内長野花の文化園 野外演奏会 11:00~、14:00~	問 梁木
5月10日	日	梁木 進ハーモニカ教室合同発表会 11:00~	狭山さやかホール 入場無料 飛び入り可 ゲスト演奏あり 問 梁木

5月16日	土	エコーズグリーン神戸 定期演奏会	神戸美術館オルビスホール 入場無料 問 梁木 072-284-8808
5月17日	日	第1回 2015年楽典基礎勉強会 9:30~11:40	日本ハーモニカ芸術協会関西 支部連合会 教本第1部 楽譜 の仕組み ふんふんさろん
5月22日	金	高知市・赤い鳥童謡会にて講演・コンサート	問 もり・けんプランニング
5月24日	日	梁木 進 複音初級・中級ハーモニカ公開レッ スン 12:30~	新大阪ココプラザ 参加費 1,000円 誰でもお気軽 にどうぞ。問 梁木 072-284-8808
5月31日	日	連盟 第1回研修会 講師 吹上晴彦	愛日会館 問 浅井瀧子
5月31日	日	寺村安雄と閻杰（中国琵琶）デュオ 12:00~	ライブスポットアロー（阪急武 庫之荘近く）¥3,000
6月5日	金	もり・けん（H）&河野康弘（P） コンサート	シェラトン都ホテル大阪 問 登龍館 06-6773-3953
6月7日	日	関西ハーモニカポップス友の会・第47回みん なのハーモニカコンサート 11:00~	神戸オルビスホール 入場無料 出演者募集中 問 梁木 072-284-8808
6月7日	日	FIHハーモニカコンテスト 決勝ライブ	東京 全電通ホール
6月14日	日	西田 幸司 ハーモニカコンサート 13:00~	神戸魚崎西町会館 入場無料 問 西田
6月27日	土	第2回 2015年楽典基礎勉強会 9:30~11:40	日本ハーモニカ芸術協会関西 支部連合会 ココプラザ
7月12日	日	日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コン サート	京都府長岡京市
7月12日	日	徳永教室発表会	阪急武庫之荘 ライブ・スポッ ト・アロー
7月19日	日	第3回 2015年楽典基礎勉強会 9:30~11:40	日本ハーモニカ芸術協会関西支 部連合会 会場未定
7月26日	日	連盟 第2回研修会 詳細未定	愛日会館
8月2日	日	日本ハーモニカ芸術協会	関西 研修会 詳細未定
8月4日 ~11日 8月18日 ~25日	火 火 火 火	もり・けん地球の仲間「モンゴル」	問 もり・けんプランニング (株)風の旅行社 0120-987-553

8月15日	土	平和になって70年 寺村安雄 焼け跡で拾った ハーモニカ・チャリティー・コンサート 14:00	大阪中之島大阪市立中央公会 堂 2,000円
8月23日	日	第4回 2015年楽典基礎勉強会 9:30~11:40	日本ハーモニカ芸術協会関西支 部連合会 会場未定
9月11日 ~14日	金~月	ハーモニカ連盟後援 任意参加交流旅行 韓国 釜山 参加者募集中	問 梁木
9月27日	日	連盟 第3回研修会 詳細未定	愛日会館
10月3~ 4日	土・日	関西ハーモニカ祭り	京都 テルサホール
11月6日	金	関西ハーモニカポップス定期演奏会	メイシアター
11月8日	日	NHK神戸マリンハーモニ 第12回たのしいハーモニカ発表会 13:00~	神戸中華会館 東亜ホール 問 佐良 078-987-2135
11月8日	日	堺市芸能百華	堺自由の泉大クロマチックコー スが出演
11月8日	日	H企画ハーモニカフリースタイルコンサート 13:00~	入場料 1,000円 ココプラザ2F演奏会ホール 問 梁木 072-284-8808
11月21日	土	ポコ・ア・ポコ 10周年記念コンサート 13:30	三郷町文化センター
11月29日	日	吉村教室発表会 13:00~	堺市北野田フェスティバル・フ ラットホール
11月29日	日	連盟 第4回研修会 詳細未定	愛日会館
12月23日	祝日	H企画クリスマスハデコン・コンサート 13:00~	入場料 1,000円 ココプラザ2F演奏会ホール 問 梁木 072-284-8808

スペースの関係でハーモニカをHと表示している場合があります。

入場料を記載してあるもの以外は、原則入場無料ですがそうでないものもありますので、主催者に確認ください。
連盟研修会は、会員1,000円、会員外2,000円です。

● 問い合わせ先: 当連盟の各部局長の連絡先は、表紙裏ページをご覧ください。

全日本ハーモニカ連盟 事務局……………048-446-6126 FAX048-445-6161
 徳永延生(特別顧問、クロマチック奏者)……………06-6934-7266
 H・U・N企画……………06-6352-8005 FAX 06-6353-1393
 ふんふんざろん/もり・けんプランニング……………06-6352-8005 FAX 06-6353-1393
 ハモニ館 吹上……………0798-22-1844 (FAX共)
 (株)風の旅行社・高嶋……………0120-987-553 FAX03-3228-5174
 寺村安雄……………072-297-5737 (FAX共)

2015年度 研修会へのお誘い

研修部長 小林由美子

2015年 研修会予定

場 所：愛日会館 大阪市中央区本町 4-7-11

電話 06-6264-4100

研修時間：毎回 14:00~16:30

参加費：会員 1,000円 非会員 2,000円

当日、受付にてお支払いください。

人 数：定員 70名 (先着順 予約が必要です)

申 込 先：浅井瀧子

TEL・FAX 078-803-2523

(研修会申込書は一度に複数回申込み可能です)

*定員を超えた場合は、参加お断りの連絡をすることがあります。なお、当日、連絡なく欠席された場合には、会費を頂きますのでご了承ください。

研修部長

2015年研修会予定について

場所・参加費・地図・人数・申込先・時間は昨年と同じ

第1回 日時：5月31日

講師：吹上 晴彦 (ふきあげ はるひこ)

・関西ハーモニカ連盟 理事長

テーマ：佐藤秀廊作品集より今回は、佐藤先生の数ある編曲作品から「青葉の笛」幻想曲を取り上げ、吹上が演奏している想いを伝え、参加者にマスターしていただきます。

・お持ちいただくハーモニカ

Am、Gm、C、C#

なお、当日、「青葉の笛」幻想曲その他、公開レッスンご希望の方は、お申込み時に申し出下さい。

第2回 日時：7月26日

講師：ボンボア テーマ 未定

第3回 日時：9月27日

第4回 日時：11月29日

第2回～第4回の予定講師は、音楽大学教授、小林由美子です。



地下鉄本町駅下車5分



事務局

事務局便り

角野まゆみ

2014年第8回常任理事会実施報告

1. 日時 2014年12月8日(月)午後6時より
2. 場所 ふんふんさろん
3. 議題

(1)事務局 定時総会招集

- ・議案について各部局からの資料提出の確認
- ・当日の役割決定

(2)事業部

- ①スプリングコンサートについて、チラシ作成、配布先の検討
- ②その他の2015年事業 交流旅行釜山交流コンサートについて

(3)その他

①編集局

ハーモニー記載年号は西暦に統一する。
個人的なコンサートの予告・宣伝はカレンダーのみ、報告記事は本誌に掲載する。
コンサート等行事の案内は連盟主催のものを本誌に掲載する。
個人・サークル活動等はカレンダーおよび折込チラシとする。

②組織部 会員異動状況について

③研修部 研修日決定。

5月31日、7月26日、9月27日、

11月29日 いずれも日曜日

④会計部 決算について

2015年度第1回常任理事会実施報告

1. 日時 2015年1月26日(月)午後6時より
2. 場所 ふんふんさろん
3. 議題 1 事務局 定時総会招集・議案について

役員・理事異動報告と確認

2 事業部

①スプリングコンサートについて

②2015年事業について

交流旅行は行わない。
釜山交流コンサートは任意参加の行事とする。

3 その他

①編集局

教室便り4件、コンサート終了報告記事5件掲載予定。

②組織部

会員証は新デザインになる。

③研修部

研修会5月31日

講師吹上理事長に決定。

以降は調整中。

④会計部 決算報告

他団体動向

日本ハーモニカ芸術協会研修会 開催速報

関西支部連合会研修部 村上 博昭

12月22日 支部連合支部長会議決定事項の甲賀会長研修会開催の進捗状況

1 日時 2015年8月2日(決定)

13:00～17:00 又は 10:00～16:00 (未確定)

2 場所 愛日会館

3 講師 甲賀一宏 会長 (決定)

水野隆元 グレード審査委員

4 内容 2004年11月公認指導員研修会と同一内容を予定(未確定)

(口琴芸術 2014年秋号 P 36～参照)

ハーモニカの呼吸法(水野)

ハーモニカの基礎練習(甲賀)

公認指導員課題曲 故郷の廃家、浜辺の歌 演奏について(甲賀)

曲の成り立ち、楽曲構造、演奏上の留意事項等

5 主催 本部研修局 関西支部連合会全面協力
取り急ぎ、日程と甲賀先生講師承諾の速報です。

スケジュールにいらしてください。

詳細は 新年に 本部と調整します。

◎関西で初の非常に貴重な研修会です。

日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会
2015年楽典基礎勉強会のご案内

村上博昭

趣旨 ハーモニカをもっと上手く吹きたい人。
 ハーモニカをやっている 音楽の知識も少し知っておきたい人。
 ハーモニカ指導者を目指しているが 楽典認定講座を受ける前に音楽基礎知識を
 少し知っておきたい人などの方々に気楽に学べる勉強会です。
 昨年度 グレード認定楽典試験 合格率 当講座受講者67%(全国平均 65%)

内容 楽典認定講座で使用している「音楽通論」をゆっくり勉強します。

- 日程**
- 第1回 2015年5月17日(日) 9時30分～11時40分
 教本第1部 楽譜の仕組み
 第1章 音の長さ、音の高さ、記号(1～5)
 会場ふんふんさろん(西栄ビル2F)
 大阪市北区松ヶ枝町6-12
 JR大阪天満宮駅JR-1出口(地下鉄南森町駅)
 - 第2回 2015年6月21日(日) 9時30分～11時40分
 教本第1部 楽譜の仕組み 記号(6～8)
 第2部 音楽の仕組み 音程
 - 第3回 2015年7月19日(日) 9時30分～11時40分
 第2部 音楽の仕組み 音階
 - 第4回 2015年8月23日(日) 9時30分～11時40分
 第2部 音楽の仕組み 和音

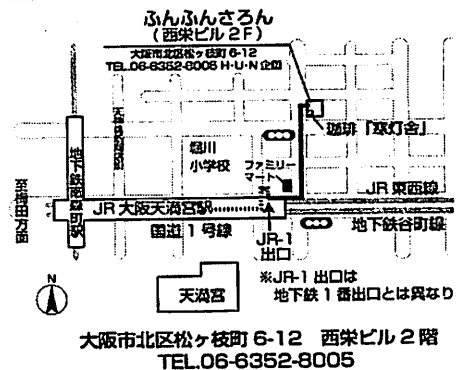
場所 第1回 ふんふんさろん
 第2回以降は未定(ココプラザ、ふんふんさろん)

講師 村上他

受講料 芸術協会会員 2,000円
 (1回あたり) 非会員 3,000円

使用する教本
 改訂 音楽通論 980円
 (株)教育芸術社
 事前に各人で書店に注文し購入してください。

申込 村上宛 FAX(TEL同番号) 0743-79-9559
 メール murakami8hk40306@ybb.ne.jp



2015年楽典基礎勉強会 受講申込書

氏名
 郵便番号
 住所

電話番号
 FAX番号
 メール番号
 連絡事項

芸術協会会員番号
 芸術協会未加入()

2015年新春ハーモニカコンサート見聞録

村上 博昭



1、あつぎハーモニカコンサート 2015年

1月18日厚木市文化会館大ホールにて厚木の若手奏者岩間朱美、柳川優子、トリプルロックス、片倉広義に、あつぎグランドハーモニカアンサンブル、昨年度連盟研修会講師の松田幸一、ハーモニカ・ライナーズ、関西の名花 南里沙(以上敬称略)という超豪華メンバーによるコンサートでした。今回特に印象に残ったのは若手奏者が益々上手くなっておられることと、南さんは聴衆を引きつけるものを持っておられる演奏でした。

終了後の懇親会には出演者全員が参加されました。さらに厚木愛好者の皆さんとも久しく且つ親しく懇談できました。特筆は『エアー乾杯?』です。人生初体験です。全員1滴も入っていない空のコップでの乾杯です。このほうが更に飲む気持ちがアップするようです。わたくしは・・・。



2、ジャズライブ

1月25日大阪堺筋本町 Over Seasにてトミーフラナガンの流れをくむ、寺井尚之氏のジャズ教室の精鋭4名によるLiveです。第一奏者として 当連盟の伊藤加奈さん登場 Omithology など3曲を演奏されました。いにしへのジャズを思い出させる素晴らしい演奏です。ドリンクを飲みながら静かに聞き入りました。

これからも徳永一門の明るく素敵な演奏と異なる演奏が聞かせて欲しいと思いました。

南里沙さん



梁木・村上ほか



ジャズライブ

ハーモニカ・ソサエティ with YOU

代表 源馬英人



関西ハーモニカ連盟の皆さん、こんにちは。私たちのグループ、「ハーモニカ・ソサエティ with YOU」の紹介をいたします。

ハーモニカ・ソサエティ with YOU は2008年の秋に、大津市青山を中心としてハーモニカ好きの仲間5人が集まって生まれ、今年で満7歳になります。2009年4月に青山公民館（市民センター）が開設されたのを機に、公民館利用者団体として登録し、原則的に毎月第1・3日曜日の午後に2階の第4会議室で練習しています。

私たちは教室ではなく、ハーモニカ愛好者のグループです。会費として毎月1人1000円を納めていますが、これはグループで貯金し、個人では負担が重い大きなハーモニカを買ったり、懇親会で盛大（！）に使ったり、定期演奏会の参加費や交通費に使ったりと、有効活用しています。掲載した写真は、今年の1月に行った新年会のスナップ・ショットです。残念ながら2名が急な事情で参加できませんでしたが、メンバー同士の仲良しぶりがお分かりいただけると思います。

誕生以降、若干のメンバー異動があり、現在のメンバーは9名（男5、女4）です。最年長は78歳、最年少は59歳で、平均年齢は……これはご想像ください。夫婦のメンバーも2組います。日本ハーモニカ芸術協会準師範の源馬恵子が指導者となっていますが、メンバーの中には元プロのジャズ・トランペット奏者やベース奏者もおり、みんなで自由にアドバイスをし合ったり冗談を言ったりしながら、ワイワイ楽しく練習しています。

定期的な活動としては大津市青山学区の文化祭参加や地元のデイケア・センター慰問を中心に展開しており、可能な限り、日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会や関西ハーモニカ連盟の定期演奏会にも参加します。（昨年はメンバー数名が病気をしたため参加できませんでしたが、今年からまた頑張ります！）

「あなたと一緒に」という名前が示すように、私たちは友情で結ばれるグループです。仲間になってくださる方は、いつでも大歓迎です。どうぞ気軽に声をかけてください。

私のハーモニカ教室について

代表 坂田利雄

私がカルチャーのハーモニカ教室を引き受け、活動をはじめたのは、2011年3月11日の東北大震災があった日からで、現在は

1. コープカルチャー神戸西
(Tel: 078-975-5140)
〒661-2111 神戸市西区池上3-3-1
会員8名 第1, 第3土曜日 10:00～13:00
2. コープカルチャー大久保
(Tel: 078-937-0074)
〒674-0051 明石市大久保町大窪字横山2545-8
会員6名 第1, 第3木曜日 13:30～15:00
3. ヨークカルチャーセンター加古川
(Tel: 079-430-2661)
〒675-0124 加古川市別府町緑町2
会員6名 第1, 第3木曜日 10:00～12:00
4. 神戸新聞カルチャー加西KCC
(Tel: 0790-42-4153)
〒675-2312 加西市北条町北条308-1
会員10名 第2, 第4金曜日 13:00～15:00
5. コープカルチャー姫路田寺
(Tel: 079-299-3588)
〒670-0086 姫路市田寺3-3-11
会員8名 第1, 第3月曜日 10:00～13:00
6. エコーズミッキー
(Tel: 0794-83-1639)
〒673-0403 三木市末広1-6-46
三木市民活動センター
会員12名 第2, 第4水曜日 10:00～12:00

の教室を担当していますが、このエコーズミッキー会員から選抜した仲間より「ミッキーカルテット」を誕生させ三木市はもとより 明石市、神戸市まで活動範囲を広げて、ハーモニカ音楽のボランティア演奏及びジャズ喫茶でのライブ演奏、三木金物まつりに出演するなど年20～30回位は出張演奏しています。



ミッキーカルテット

私の教室を総合してみますと会員は 50名(男28人女22人)で、平均年齢は70歳を超え、最年長は76歳、最年少は47歳で毎年3月にはレストランで教室すべての合同発表会を行い、今年3月に「神戸しあわせの村」で1泊2日の発表会を計画しております。



長井珈琲倶楽部 レストラン

今までの発表会で感じた事は、最初は初対面の緊張から、遠慮気味の様子でしたが 司会者のユーモアと「ミッキーカルテット」の演奏で場を和ませ 出演者一人一人の発表曲を、録音してCDを作成、教室毎にアルバムを配布する等思い出作りに励んで切磋琢磨しております。

最後に、ハーモニカ愛好者として私が夢見る事は、私がやっている教室から一人でも多く関西ハーモニカ連盟の行事に参加できる逸材が出てきて欲しいと思うことで、それまで私も精進しなければならぬと考えています。

みのりっちハーモニカ教室

代表 光野利一郎



- 1 大阪市旭区清水5丁目6番32号
- 2 光野利一郎
練習日 毎月第1・3(金)第2・4(土)
- 3 男性15名 女性17名
- 4 平均年齢は68歳 最高齢86歳 一番若い人は42歳
- 5 会員で結成している、大阪ハモ朗会・ラッキーハーモニカズによる公共施設での口

ビーコンサートや、NESSOコンサート等に積極的に出演する他、年間40回以上のボランティア演奏活動も行っています。

ボランティア演奏活動自体が発表の場という考えで、特別に発表会というのではありませんが、年に1回クリスマス月に発表会を兼ねた親睦会を盛大に催し、楽しんでいます。



和歌山ハーモニカクラブ

代表 加門信志

1. 名称・所在地

「和歌山ハーモニカクラブ」

〒640-8471 和歌山市 善明寺706-69

☎ 073-455-9078 (加門宅)

2. 指導者名・練習日

指導者：後藤貞男先生

練習日：毎月第2・第4木曜日

12時30分～16時

3. 現在の会員数・男女別人数

男：21名

女：17名

合計：38名

4. 平均年齢・最年長・最年少

平均年齢：70歳

最年長者：83歳

最年少者：60歳

5. 連盟行事以外の活動・発表会の有無

- ・毎年4月に「ハーモニカと唄う会」を開催
- ・毎年12月に「定例発表会」を開催
- ・毎年日本ハーモニカ芸術協会関西支部定期演奏会に出演
- ・その他老健施設等でのボランティア演奏年間15回以上

6. 和歌山ハーモニカクラブの歴史等

和歌山ハーモニカクラブは、2006年6月に和歌山でもハーモニカ同好者の活動を始めたいとの思いから、我がクラブの前事務局長の山田将雄さんが、関西ハーモニカ連盟会員の谷山清(当クラブの前会長)さんと相談して、会員数11名で設立されました。

2007年6月には、地元の和歌山市民会館で、日本ハーモニカ芸術協会関西支部の第21回定期演奏会が開催され、これに初出場しましたが、和歌山で初めてのハーモニカの定期演奏会を聴いて、クラブへの入会希望者が続出して会員数は倍増されました。

2008年11月には、クラブとして初めての発表



会を開催しましたが、150名を超える方々の来場があり、FMわかやまでも内容が放送される等、大好評を得、毎年の行事として定着しています。

また発表会の第3部であった、ハーモニカと唄うコーナーが好評を得た事もあり、2012年4月には「ハーモニカと唄う会」を開催し、以降毎年の定例行事となっています。

この他にも、地元の鉄道として市民で守る会を作って活動している「タマ電車・おもちゃ電車」で有名な和歌山電気鉄道のクリスマス行事として、電車内での演奏や、県立和歌山風土記の丘での演奏会、和歌山商工祭での演奏、グループで老健施設での演奏など、活動の内容は広がっています。

関西ハーモニカ連盟には、2014年度に団体会員として加入し、初めて「ハーモニカ祭り」に参加する予定でしたが、台風により、参加出来なかった事は残念でした。

永年、会長としてご活躍頂いた谷山さんが、遠い広島県の方に転出された事から、今年度は新体制としてスタートし、企画部長や自主研修の為の研修部長なども決定し、和気あいあいと楽しみながら、ますます充実していく予定です。



トゥーツ・シールマンズのLPが10枚も

吉村 則次

私の家の近くの堺北花田のイオン・モールの「新春・中古&廃盤CD・レコードセール」で、トゥーツ・シールマンズのLP（CDではなくLPです）が10枚も出ていました。

1枚だいたい1380円。

全部、私がすでに持っているものばかりなので、買いませんでしたが、1か所でこんなに多く出ているのを見て、嬉しくなりました。

しかし、考えてみると、通常はシールマンズの愛好者がコレクションを手放す訳はない、たぶんシールマンズの愛好者がお亡くなりになり、遺族が手放したものに違いがない。こう考えると、嬉しさがばかりはいられない。

シールマンズさんは、年齢から、引退とのニュースが流れています。引退といっても、ハーモニカを止めた訳ではなく、多分、時刻・場所などを約束して人前で演奏することはしない、レコーディングはしない、遠くには出て行かない、ということかと思います。したがって、シールマンズさんが今後日本に来ることは考えられないし、シールマンズの新しい録音はもう出て来ない、ということだだと思いますので、このLPも値打ちがあるものと思います。

もし、興味のあるかたがありましたら、0776-33-6050 フラミンゴレコーズに電話してみてください。

黒檀製のクロマチック・ハーモニカ

吉村 則次



黒檀製のクロマチック・ハーモニカ

横浜市のハーモニカ工房クレモナ（岸直孝氏）が、黒檀（高級家具や仏壇等に使われている非常に硬い木材）製のクロマチック・ハーモニカを製作して販売している。12穴はすでに1年以上前から市場に出ていたが、今回16穴のものを製作され、注文を受けている。

リード・プレートのみは、ホーナーの64Xのものを使用しているが、その他の部品はすべて自家製で、ボディ及びカバーは無垢黒檀削り出しで、マウスピースは銀製。

私は、一日お借りして、試し吹きしました。黒檀製のカバーのため、音は柔らかいし、手に

持ったときに、冬でも温かく感じる。木製のカバーのため、全体の厚さは大きく、重さは、通常の16穴クロマチック・ハーモニカのほぼ5割増し。木材とはいえ、非常に硬い木材なので、湿気によるふくらみ、亀裂はなさそうである。

ちなみに価格は35万円とのこと。（写真参照）興味のあるかたは、次にコンタクトください。045-804-4644、080-5182-7160 岸直孝氏
ハーモニカ工房クレモナ

横浜市泉区和泉中央南2-6-26 <http://www.workshop-cremona.com/>

あれから 20 年！ 中央公会堂でのコンサート

吉村 則次

(この稿がみなさんの目にとまるのは、3月8日のスプリング・コンサートの後になるのが、少し残念ですが) 今年、阪神大震災20周年、地下鉄サリン20周年であるが、我々が忘れてはならないのは、大阪市中央公会堂(大正7年1918年完成)での、当連盟主催の日本へのハーモニカ渡来の100周年記念コンサート(1995年10月15日)から20年であるということ。あれから20年ということは、すでに人生の4分の1が、あれ以降経ってしまったということである。そのころの会員の中で、すでに鬼籍に入られた方も多し。今回、再び当連盟が、大阪市中央公会堂でコンサートを企画されたということは、その意味でも非常に意義深いと思う。

20年前の1995年には、私が実行委員長として、同じ場所で、日本へのハーモニカ渡来100周年記念行事の一環として、大掛かりな有料のコンサートを企画し、開催した。昼は現在と同様、会員によるコンサート、これには関西学院大学及び同志社大学のハーモニカ・ソサイアティも参加。しかし、現在、毎回出演している私が指導するソフィア堺アンサンブルというものは、まだ存在していなかった。夕方は、ゲストによる有料コンサートで、ピート・ピーダスン、和谷泰扶、徳永延生、小林忠夫、吉森正隆、森本恵夫、京都ハーモニカカルテット等、豪華なものであった。(掲載のチラシ参照。詳細は1995年12月発行の会報125、126合併号に)。このうち3人が鬼籍に入られた。合掌。

その時は、会場は、現在のような改装以前であり、公園でライブが始まると音が入りますよ、ピアノは、東ドイツのメーカーのもので、チューニングは不可能かも、また鳴らない(線が切れてしまっている)音がある、というような制限が多いことであった。また控室が少な

かったことも困ったことであった。そのうえ当日は、中之島公園は歩行者天国となつて、車の横づけができず、PA機器やドラムを川向うから人手で運んで来なければならなかった、等、私は、やせる思いであった。客席には、開場前に入場者が長い列を作り、当時のFIH会長のクツリさん、ホーナーのゲアハルト・ミュラー(現在のFIH会長)等も見えた。その長い列を見て、ひょっこり入って見たという方もおられた。

今回、同じ中央公会堂で、コンサートに(私は聴衆として客席でゆっくり)接することは、非常にうれしいことである。1995年コンサートは、入場者は1008名、そのうち私は70数枚のチケットを販売し、第2位であった。第1位は、小林忠夫さん。ちなみに、大阪市中央公会堂は、かつては、ハーモニカのコンテストやコンサートの会場であったとのこと。古くは、85年前の昭和5年(1930年)11月8日に、ハーモニカ大競演会という名称のコンテストが開催されており、戦後では、昭和23年(1948年)6月15日には、「ハーモニカ大音楽祭」が、同年6月30日には、第1回西日本ハーモニカ独奏コンクールが開催されております。



終了後の懇親会、北京料理の徐園にて

左から、モリダイラ当時の社長皆川氏、ミュラー氏、クツリ氏

ハ一モニカ渡来100周年記念



入場料 当日2,500円
前売2,000円

HARMONICA
CONCERT

ハーモニカコンサート

とき 95年10月15日 (日曜日)
午後5時0分開場
午後5時30分開演 7時30分終了予定
ところ 大阪市北区中之島1丁目1-27
大阪市中央公会堂
電話 06-231-0631



ビート・ビードスン
(アメリカの作曲家、編曲者
ジャズハーモニカ奏者)



徳永 延生
(プロ・ジャズ
ハーモニカ奏者)



和谷 泰扶
(89年
世界チャンピオン
ドイツ在住、
京都 出身
伴奏 和谷麻里子)



小林 忠夫
(プロ
ハーモニカ奏者)



吉森 正隆
(91年
複音ハーモニカ
世界チャンピオン)

チケットのお求め 新井 075-361-3982
内容に関するお問い合わせ 吉村 0722-51-9398
仲村 06-624-5606

京都
ハーモニカ
カルテット
(93年ハーモニカ
世界チャンピオン)
北尾、田中、
新井、和谷



ハーモニカ渡来100周年記念

同日同じ会場で
午前10時0分より午後4時まで
ハーモニカ連盟会員による演奏会
入場料は無料

主催 関西ハーモニカ連盟

後援 大阪市、大阪府、日本ハーモニカ推進協議会、全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、ハーモニカ振興会
協賛 (株)モリダイラ楽器、(株)トンボ楽器製作所、鈴本楽器販売(株)、(株)河合楽器製作所、三木楽器(株)、(株)ソハマ楽器、梅田ナカイ楽器(株)、
JEUJIAコミュニケーションフォーラム、朝日カルチャーセンター、NHK文化センター

金(キム) 秉燮(ビョンソップ)さん達(韓国釜山市)
京都へボランティア演奏に来られる

寺村 安雄

釜山市在住の釜山芸術大学講師、ハーモニカ同好会(和音情)代表の金秉燮(キム・ビョンソップ)さんが李大雄(イ・デウン)さんと共に再度、師走の京都へ在日コリアン老人施設にボランティア演奏の為に来られました。

金さんたちは、昨年9月27、28日の連盟行事合宿合同研修会に講師として来阪されて以来の来日であります。金さんたちは2年前にもこの施設を訪ねてこられて今回は2度目の来日です。それを知って、私から依頼して参加いたしました。金さんたちが来日の折は、京都在住の井上朋子さんが通訳として献身的にサポートされています。私達は井上さん宅へ立ち寄った後、井上さんがいつもサポートされている京都市南区東松の木団地集会所へ赴きました。そこへ立ち寄る前に、足が不自由で集会所へ来られない米寿を迎えられた老婦人の個室を訪ねました。

その方のリクエスト曲は「アリラン」でした。金さんが井上さんから借りたギターで伴奏され、私は民謡ハーモニカで「アリラン」「トラジ」を演奏しました。祖国の山河、またアリラン峠でも思いめぐらされたのか、目頭をぬぐい涙を堪えられていました。その顔には、この日本で様々な出来事があったらうと推測される年輪が刻まれていました。日本でのこれまでの暮らしはどうでしたかとお尋ねしたかったのですが、一言も言葉を交わせることが出来ませんでした。帰り際に100歳までお元気で頑張ってください、と話すともっともっと頑張って長生きするとの返事が返ってきました。何かホットするものを感じてそこを退出しました。

お昼1時からの集会場は、高齢者で一人暮らしの在日コリアンの方々が多く生活されている京都市営住宅団地です。そこは一般的な4、5階建ての白い建物のイメージではなく、利用者の立場に立った高層マンション風のイメージです。大きな窓辺に見える風景はゆったりと流れる鴨

川でした。NPO法人「まめもやし」が市から委託され管理業務、生活支援などの活動をしており、毎金曜日は集会所でお昼の会食が企画されていて、昼食会の後、演奏会となりました。イ・デウンさんは36歳の若者ですが、「荒城の月(幻想曲)」を演奏されたのには驚きました。日本の若い方でこの曲を吹いているのをあまり聞いたことがありません。同じアジア人共通の文化的土壌がある故にこの曲を理解され演奏されたと思います。韓国民俗音楽が日本の民謡、唱歌、演歌などに強い影響を与えていることで、私はここでも、ファ「4」とシ「7」が無いヨナ抜き共通の曲として「アリラン」「トラジ」「津軽平野」をコメントを入れながら民謡ハーモニカで演奏しました。

夜は、京都の台所、錦市場にある喫茶店「京倶楽部Cafe」でライブ演奏しました。市場の発祥地のような趣のある市場で師走の賑わいに圧倒されました。ここは井上さんの知人のお若い方々の集いでした。京都らしいシックな雰囲気のある喫茶店でした。韓国釜山市からのハーモニカ奏者のライブ演奏だけに満席となり、金さんの「釜山港へ帰れ」その他、ラストは皆で韓国の歌を合唱して楽しい一時を過ごしました。

私は金さん達を側面からサポートするゲスト出演の一日のみでしたが、金さん達は、翌日13日もNPO法人京都コリアン生活センター「エルファ」(南区東九条東松の木町)においても慰問演奏を続けられました。この施設は、在日コリアンをはじめ異文化を背景に持つ高齢者、障害者を支援するセンターです。今回はデイサービスに来られた在日のお年寄りの前で韓国の民謡・歌謡曲を中心に演奏され、それに合わせてマイクを持って歌ったり、踊ったりされて大いに盛り上がったと聞いています。

私は韓国の人々、また韓国の文化などに少し関心を持っていますのは、子供の頃に韓国のお

婆さんから貰ったお餅のことや、韓国の子供等と泥んこになって一緒に遊んだりしたことが由来しています。

戦後、食糧難時代（代用食で凌ぐ）に年に数回、近所に住む韓国のお婆さんから貰ったお餅と進駐軍の配給のパンの美味しかったことをよく覚えていています。

韓国のお餅は京都の銘菓「ういろ」に似ています。白いお餅とその上に小豆を乗せた赤いお餅の2種類があります。お婆さんから「お餅を作るからできたら呼びに行くから、遠くへ行かないでお家で待っている」と声を掛けられると、お餅ができるまで、じっと家で待っていることができず、数10分離れたお婆さん宅と私の家の間を行ったり来たりしたものです。先の大戦の空襲の時、皆は小走りに逃げるのであるが、そのお婆さんだけは外股で小舟のような反り上がった朝鮮靴で堂々とゆっくり歩く姿は今も目に焼き付いています。お婆さんには二人の息子さんがおられました。兄さんは実直な職人風な方、弟さんは少し遊び人風で、映画のエキストラ役にも出られたりするほどのイケメンな人でした。弟さんは私の兄より2、3歳年上で、戦前戦後の食糧難時代に闇の物資調達に兄と一緒によく買い出しに出かけていましたので、私は弟さんに一種の憧れに近い願望を持っていました。

私が初めて会社に勤めるようになって、初任給を貰った日に、母親に頼んで、お婆さんに子供の頃に可愛がって貰ったお礼に500円のお菓子を上げてくれるように頼みましたが、お婆さんは「お菓子を貰う筋合いは無い」と受け取って貰えませんでした。その時は、何となく気恥ずかしく照れもあり、私自身が直接お礼を述べて、手渡すべきだったと反省し、そして何と誇り高いお婆さんなんだろうと、その気丈夫さに脱帽しました。

時々そのご家族にお会いしたいなあと、頭に



過ぎることしばしばあります。そのような折、数年前に金さんたちが来阪されて初めてお会いした瞬間、通訳者・井上朋子さんがそのお婆さんにそっくり、そして金さんがその弟さんの男前ぶりもそっくりなのに驚きました、そして、お二人に生まれ変わられてお会いできたと直感しました。誠に不思議なご縁だと思っています。

この夏8月15日（土）は平和になって70年を迎えます。この平和が今後も続いていくことを願い、ハーモニカチャリティコンサートを催します。そのコンサートにもゲスト出演していただけます。またこの秋9月には、韓国釜山市で日韓文化交流ハーモニカコンサート（任意参加）が催されます。再度会えることを楽しみにしています。



2014年クリスマスコンサート クラリネット大川真一郎さんと共演

もり・けん



JR住道駅の北側に大きな街（オペラタウン）づくりをした大川創業株式会社 大川真一郎会長は、元三洋電機のアイデアマンで、冷蔵庫を2ドアにしたり、電気こたつを折り畳みにしたりした人。家業の大川創業を継いでからも、大東市のために大きな功績をあげた。そしてこの方はクラリネットの名演奏家でもあり、関西フィルハーモニーの代表も勤めたというから驚きだ。

他にも、大阪桐蔭高校の校歌を作り、学研都市線の名付け親でもある大川真一郎さんとご一緒できるチャンスに恵まれた。ピアノ田中準子さんと、もり・けんのジョイントの形でクリスマスコンサー

トが開催された。

一部は、もり・けんと田中準子による童謡のお話と童謡「たき火」や「冬の星座」や、クリスマス曲「ジングルベル」「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」などを交えたコンサート。

二部では、大川真一郎さんのクラリネットが加わり「あざみの歌」「四季の歌」や、クリスマス曲を合奏、会場は盛り上がった。カレンダーやクリスマスグッズなどのお土産をもらってニコニコ顔の子どもたちの姿が印象的だった。来年も開催して欲しいとの声が100名を越える会場から聞こえた。



西日本コンテスト優勝者も演奏 徳永教室発表会

吉村 則次

2014年12月7日、日曜日、いつもの阪急武庫之荘のライブスポット・アローで、年2回開催の、上記発表会が開催された。

出場数はアンサンブルを含め45。当連盟主催の、昨年の西日本コンテストのジャズ部門の入賞者、李寿栄(り・すよん)、西村香奈枝、下井紀代子等、ほぼ全員出場し、演奏された。また昨年度FIHジャパン主催ハーモニカ・コンテストのグランプリ受賞の、埼玉県春日部市の山下

伶さんも演奏された。

当連盟の会員では、私、服部恵美子、岡直弥、山口昌代、小野浩子、矢野喜久代、等多数出演された。



2015年 童謡伝道高知からスタート

もり・けん



2015年童謡伝道は高知からスタートした。この3月に学園創立25周年を迎える高知県南国市平成学園(大野香葉美理事長)では、年中と年長で21穴の複音ハーモニカを導入、童謡を演奏してくださっている。

3月7日(土)創立25周年記念行事を前に一足先にお邪魔した。今回は、2か園の子どもたちへのコンサートと、両園のご家族の方、先生方への講演&コンサート。

講演を前に、たまたま高知県教育者の集まり(全日本教職員連盟・岩野伸哉委員長)に講演で来ておられた高橋史朗を囲む懇親会にお邪魔させてもらい、席上でミニ講演をさせていただいた。創立25周年記念式典主催者大野先生と記念講演

をされる高橋史朗先生、記念演奏で花を添えさせてもらう私が、お話しできたことは、ラッキーだった。

1月26日(月)朝10時から、あとむ幼稚園の子どもたちにコンサート、午後11時半から、ひまわり幼稚園の子どもたちにコンサート。年中児「メリーさんの羊」「きらきら星」「かえるの合唱」、年長児「富士山」「故郷」をハーモニカ合奏をしてくれた。普段から童謡を歌ってくださっているので、子どもたちも元気いっぱい歌ってくれ、私自身も楽しく参加できた。

夜には、家族の方に講演「日本人の心を育む童謡」を話し、歌える歌がたくさんあることを訴えた。



ハデコン・コンサートについて

梁木 進



昨年11月1日H企画のハーモニカ・フリースタイル・コンサートを開催し、H企画の第2段として12月13日(土)にハデコン・コンサートを開催しました。

新大阪ココプラザ午前10時には出演者がぞろぞろと集まり、クリスマス気分を盛り上げる為にみんなで飾り付けを行いました。開催時間になると手が回らないほど観客が殺到し、みるみるうちに用意した席がほぼ満席になりました。

ハーモニカ・フリースタイル・コンサートは関西在住の一定のレベルの演奏技能を持った人のリサイタルを支援する目的で立ち上げましたが、ハデコン・コンサートはハーモニカを指導している先生方のコンサートという事で、さすが皆さんには素晴らしい演奏をして頂きました。ハーモニカの出演者は32名、プメハナ(4人)のハワイアンダンス、歌を入れると3時間はアットという間に終わりました。

ステージは照明で美しく、クリスマス一色でお客さんに飽きさせない工夫、出演者はそれぞれの个性的で、普段のコンサートでは見られない様なハデな服装でパフォーマンスを見せながら演奏されました。笑い一杯の会場でした。

お客様に1,000円の入場料をいただき、出演者の負担は0です。従来のコンサートと逆のパ

ターンでお客さんが来てくれるだろうかと不安はありましたが、出演者は無料で出演出来るので一所懸命に良い演奏を見せようと頑張りました。前回のハーモニカ・フリースタイル・コンサートでは15,000円の黒字、今回は約10,000円の黒字でH企画の余剰金が25,000円となりました。2015年11月8日(日)に第2回のハーモニカ・フリースタイル・コンサートには高山美千代さんをお願いすることになりました。そして12月23日には第2回のハデコン・コンサートを開催します。1年に一回ですので昨年出演されなかった先生方は次回には出演をお願いします。お客さんもハデな格好でご来場となればもっと盛り上がることでしょう。

ご来場いただきました皆さん、ありがとうございました。今後もH企画に注目して頂き、ご支援よろしくお祈いします。「誰でもステージ」のハモ金もH企画の一つです。複音ハーモニカソロ愛好者なら誰でも参加出来ます。4月又は5月に開催します。関西ハーモニカ連盟のホームページでご確認下さい。

H企画は関西ハーモニカ連盟のイベントではありません。梁木 進が行う個人的な、非営利目的の自由企画です。

吹いて、歌って、笑って!! 笑って!!

もり・けん先生と枚岡(ひらおか)神社で

ハーモニカアンサンブル生駒 岩本 洋之



近鉄奈良線の枚岡駅を南側に出るとすぐに、ゆるやかな参道と大鳥居が目の前に現れます。この近鉄奈良線を30年以上利用していたにも関わらず、枚岡駅には今回初めて降り立った私はすぐに「ここは靈気が宿るパワースポットだ」と感じました。

2014年の年末、日本を襲った寒波の影響で西日本も灰色の雪雲に覆われる日が続きましたが、12月25日(木)は前日と異なり、底冷えはするものの薄雲から太陽の日が漏れる良い日になりました。

吹いて、歌って、踊って

「もり・けん先生の活動されている場所に足を運びたい」とダイアリーに先生の予定をメモしていましたが、この日は午前中ずっと枚岡神社で活動されるということで家内と一緒に家を出た結果、実に素晴らしい体験をさせていただきました。

9時に境内に入ると、もりけん先生を囲んで7~8人の方がハーモニカを吹いたり、歌ったり、踊ったりしておられるのが直ぐに分かりました。私も先生に会釈するや、すぐに輪の中に溶け込んで、約一時間、一緒に吹かせて頂きました。参拝客がどんどん増えてくるのも相俟って境内には熱気が漂い始め「いよいよ“お笑い神事”が始まるぞ」という気分が盛り上がっていきました。

笑って、笑って、笑って 20分

10時になると「注連縄掛神事(お笑い神事)」

がとり行われました。

「神代の昔、神々の祈りと笑いによって天の岩戸が開かれたこと」「感謝の祈りと笑いで良い年を迎えたいこと」などのお話の後、宮司さんの勢い良い大きな笑い声を合図に行事が始まった。ワッハッハッハ、ワッハッハッハの4拍笑いで境内が一気に明るくなる。太鼓がドン!で5分が経過。宮司さんの右傍で「もり・けん先生」が笑っておられる。左側ではいつの間にか「あのねのねの原田伸郎さん」が笑っておられる。太鼓がドン!ドン!で10分経過。少し疲れてきたなあ。宮司さんもワッハッハー、ワッハッハーと3音刻みになった。でも声量は変わらない。会場のみみんなも合わせてワッハッハー、ワッハッハー。ドンドンドン「あと5分で〜す。」そして、そして、ドンドンドン「20分 終了!」。

最初は声も出なかった初めての方も最後は恥ずかしさも忘れて一緒に騒いでいました。

学ぶこと多く、元気をいただいた一日でした「ひらおか」「面白い」「お陰様」等々の意味や語源、知っていること、知らなかったこと、学ぶことも多く、みんなで笑う楽しさを味わわせて頂きました。そして何よりもハーモニカを吹きまくる伝道師もり・けん先生の活動と笑い顔を間近に拝見させて頂き「来年は仲間を誘って“吹いて”“歌って”“笑い”に来よう」と思いました。

今年は12月23日だそうです。

*この件だけでなく、もり・けん先生のスケジュールを今後もマークしたいと思います。



新春ハーモニカコンサートの開催について

坂田 利雄

2015年も幕明けの正月早々、お屠蘇気分の覚めぬまま、我が町兵庫県三木市で活動するハーモニカバンドの「ミッキーカルテット」と神戸市で活躍するハーモニカバンド「パールエコーズ」が共演し、今年で第4回目となるコンサートの開催を盛大裡に終えたのは、1月10日午前中の演奏で、場所は兵庫県三木市内にある県立森林公園『森の音楽ホール』の自然環境豊かな恵みの下に行われました。

それぞれのメンバーを紹介しますと、ミッキーカルテットは、ファースト「坂田利雄」セカンド「江口清子」コード「中西里江」バス「内田常雄」パーカッション「西川修」の5人組で、パー

ルエコーズは「高阪他美子」「今泉 宏」「新家 徹」「蓮田和俊」「羽原伸示」「川本章子」「安井節子」「山本博子」「角野まゆみ」「武田桂子」「滝口英子」の11名による4重奏構成でした。

実施に当たっては、昨春秋から用意周到に計画を進め、会場の確保からチラシの作成・宣伝

配布・各出演者の知人、縁故・神戸新聞社への案内記事掲載・地元ラジオ放送FMみっきいの宣伝インタビューに出演するなど積極的な活動を行ない、ハーモニカ教室の愛好者に対する来場も呼びかけました。

さあー いよいよ本番のことです。

当日は、肌寒い天気でしたが、時雨模様もなく柔かい陽射しの中で前日のリハーサルを活かした本番が始まりました。

これまでの努力が実るときです。

会場は定員254名が入れますが、宣伝活動が功を奏したのか場内は満席となり、240名位が見受けられました。

まずミッキーカルテットの演奏から始まり、観客席は、老老男女の熱気で溢れかえりました

が、ほど良い音響効果でノリノリの姿がみられ、手拍子もよろしく拍手喝采の状況が、演奏者までを喜ばせました。

曲目は、「函館の女」「おやじの海」「日曜は駄目よ」「忘れな草」「故郷の廃家」「枯葉」「コンドルは飛んでいく」「セレスローサ」「さよならルンバ」の9曲を演奏し、二部のパールエコーズは、「京都慕情」「赤い夕陽の故郷」「薔薇のタンゴ」「クワイ河マーチ」「赤い風船」「オリーブの首飾り」「二つのギター」「いい日旅立ち」「赤いランプの終列車」で9曲を演奏したうえ、全員が「一月一日」「いつでも夢を」の2曲を演奏し、アンコールの歌では、「好きになった人」を熱唱

して有終の美を飾りました。

主催者側から見た観客の態度で感心したことは、どの曲の演奏中でも咳払いや、くしゃみ、おしゃべりがなく、本当に気持ちのいい演奏が出来たことで、初めての体感でした。

特にパールエコーズの演奏は

迫力があり、11名全員が椅子に腰掛けて高阪先生の指揮のもと一糸乱れぬ演奏は見事なものでした

双方が演奏した曲の、感想はさまざまにありますが、とにかくハーモニカの音色が人の心を惹きつけ、お互いに感動したことは事実です。

閉幕後は舞台に出演した全員が入口に並び、お客さまと笑顔を交換し、握手しながら次回の楽しみを持ったことは大成功であったと言っても過言ではないでしょう。

最後になりましたが関西ハーモニカ連盟の研修部長補佐丸山茂生さんがおいで下さり、声援頂いたことを感謝しています。【心温まる演奏をあなたに】をスローガンに益々の繁栄・精進を決意した次第です。

ハーモニカ
10日に演奏会
三木山舞舞会
「新春ハーモニカ」を
「心温まる演奏をあなたに」が10日
午前10時から、三木市
福井の三木山森林公園
音楽ホールで開かれ
る。
2部構成で、1部は
市内の老人ホームなど
4354
で演奏する5人組「ミ
ッキーカルテット」が
「函館の女」「コンド
ルは飛んでいく」など
を演奏する。2部は神戸
市立森林公園の森に立つ
「パールエコーズ」が
「京都慕情」「オリーブ
の首飾り」などを披露
する。
入場無料。坂田さん
090-5011-4354

小林旭も歌っていたハーモニカの詩 ほかにもあったハーモニカの歌

吉村 則次

前号 p37 で、池田輝樹氏が「ハーモニカの付いた題名の曲」を非常に多く紹介しておられ、こんなにもあったのかと驚きでした。私も、次の通り「ハーモニカの付いた題名の曲」を持っていました。

◎ハーモニカの詩（うた） 阿久悠作詞、吉田拓郎作曲、小林旭歌 1987年

◎The Harmonica Player ハーモニカ・プレーヤー

デイビット・ギオン作曲、ブロードウェイ・ミュージカル Three Scenes from the South の中の1曲。楽譜はアメリカの G.Schirmer, Inc 発行。

著作権 1926年

いずれもハーモニカで演奏するための曲ではなく、vocal の曲。

The Harmonica Player は、前々号 p38 掲載のジョン・セバスチャンが、別の LP で、クロマチックハーモニカで演奏していました。

「ハーモニカの詩」については、楽譜、カラオケを、また「ハーモニカ・プレーヤー」については、演奏 LP と楽譜を持っておりまますから、ご希望の方は、電話 & Fax 072-251-9398 吉村則次まで。

写真撮影時間を設けた南里沙コンサート

吉村 則次

2014年11月29日、土曜日、堺市のサンスクエア堺で、当連盟会員の南里沙さんのコンサートがありました。主催は、堺市のいずみおやこ劇場。

このところ、南里沙さんは、大阪の南地区でも、多く演奏会を開かれています。

今回は、ギター、ベース、パーカッションの3人のバックを控えて、豪華なものであった。かなり名前が知られて来たらしく、ほぼ満席であった。楽しさと、自分ももっとなんとかせなあかな、という刺激を与えてくれたものであった。

こういうコンサートでは、通常は、写真録画は禁止されているもの（主催者と聴衆の間の約束事項として）ですが、だれでも記念に写真を撮りたくなるものです。この頃では、ほとんどの方が、スマホを持っていて写真を撮れる態勢にある。今回は、特定の1曲の間、「撮影をどうぞ」ということであって、ありがたい、思いやりのあるものであった。（写真参照）

写真撮影時間を設けた南里沙コンサート



こんなの初めてであった。ほかのリサイタルでも、こういう方式をとってくれば、聞きに来たものに、もっと「受ける」と思うが。

なお、同人は1月12日、ラジオ大阪「ほんまも原田年晴」、1月13日、NHK-TV「ぐるっと関西おひるまえ」、1月18日、神奈川県「あつぎハーモニカ・コンサート」にも出演された。

上記、堺市のサンスクエアでは、本人がステージ上から、「堺市にもいいクロマチックの先生がおられる、堺市ではクロマチックが盛んである」と嬉しい紹介があり、コンサートを聞いた方2人が、自分もあんなにやりたいと、私のほうに依頼がありました。1月から個人レッスンで、始めております。



提供 寺村安雄

A paris, Dans Chaque Faubourg

巴里祭

C Tempo di Valse lente

トオピス映画主題歌

Arr. by K.S.S

$\frac{3}{4}$ $\overset{f}{\underline{67}}$ | $\underline{i\dot{2}i7i6}$ | 7 - $\#56$ | $\underline{7i767\#5}$ | 6 - 3 | 6 - || $\overset{p}{\underline{67}}$ |

$\underline{i\dot{2}i7i6}$ | 7 - $\#56$ | $\underline{7i767\#5}$ | 6 - . | $\overset{>}{\underline{3\#2\dot{3}2\dot{3}4}}$ | $\overset{>}{\underline{3}} - \#2$ |

$\underline{2\#i\dot{2}i\dot{2}3}$ | $\overset{>}{\underline{2}} - \#i$ | $\underline{i767i6}$ | 7 - \dot{i} | 7 - . | $\underline{7\#67i\#i\dot{2}}$ |

$\dot{3} - .$ | $\underline{7\#i7\#56\#4}$ | 3 - . | 3 || **A** $\overset{mf}{\underline{i2}}$ | 3 - $\underline{32}$ | 3 - $\underline{51}$ |

3 - . | 3 1 2 | 3 - $\underline{32}$ | 3 - $\underline{63}$ | 4 - . |

$\underline{423}$ | 4 - $\underline{43}$ | 4 - $\underline{43}$ | 2 - . | 2 - 3 | 4 - $\underline{46}$ |

5 - $\underline{12}$ | 3 - . | 3 - 3 | 3 - 2 | 1 - $\underline{23}$ | 2 - 1 |

$\dot{7} - \dot{3}$ | $\#5 - 6$ | $\dot{7} - \underline{17}$ | $\dot{6} - .$ | $\dot{6} - \dot{6}$ | 4 - 3 |

2 - $\underline{34}$ | 3 - 1 | 2 - . | 1 - $\dot{6}$ | $\dot{7} - \dot{7}$ | $\dot{7} \dot{6} \#5$ |

$\overset{p}{\underline{6}}$ 1 2 | 3 - $\underline{32}$ | 3 - $\underline{51}$ | 3 - . | 3 1 2 | 3 - $\underline{32}$ |

3 - $\underline{63}$ | 4 - . | 4 2 3 | 4 - $\underline{46}$ | 4 - $\underline{43}$ | 2 - . | 2 - 3 |

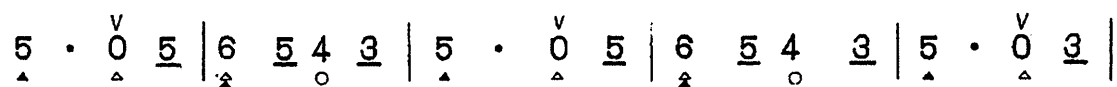
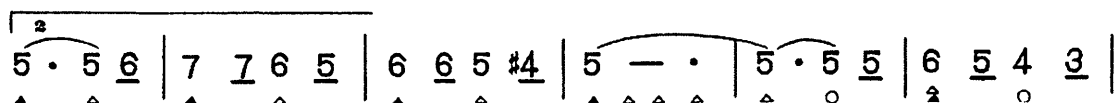
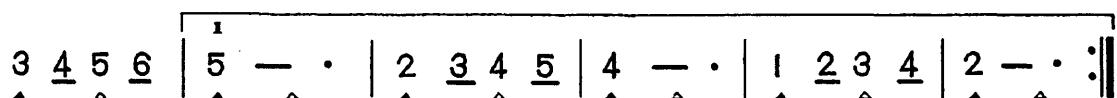
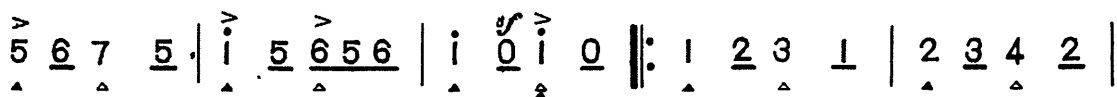
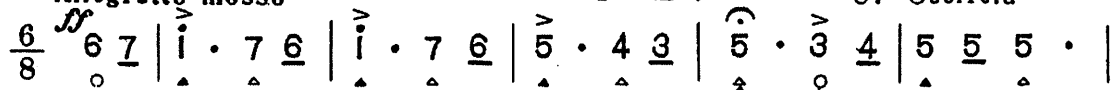
4 - $\underline{45}$ | $\overset{1. 2.}{\underline{6}} - 5$ | 3 - . | $\overset{\circ}{\underline{3}} -$ **C** || $\overset{last\ time}{\underline{6}} - 3$ | $\overset{\circ}{\underline{i}} - .$ | $\overset{\circ}{\underline{i}} -$ ||

C'est Pour Mon Papa

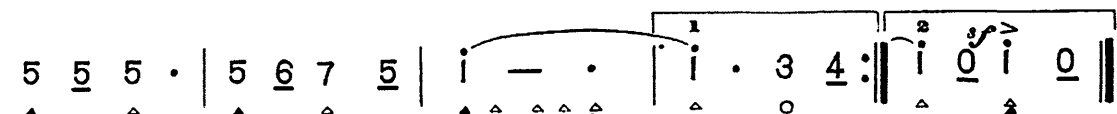
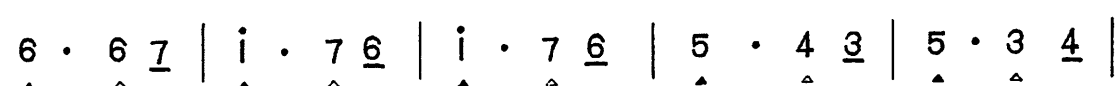
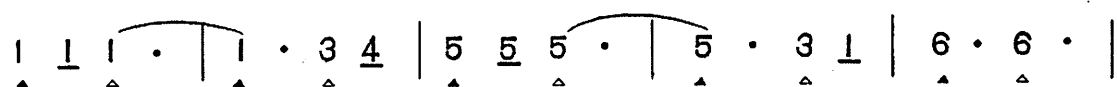
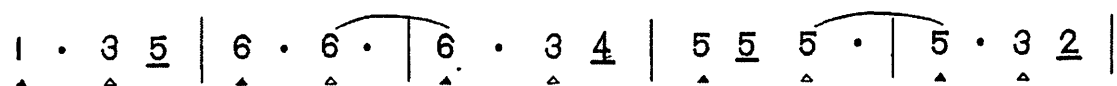
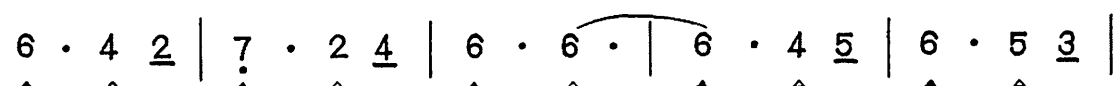
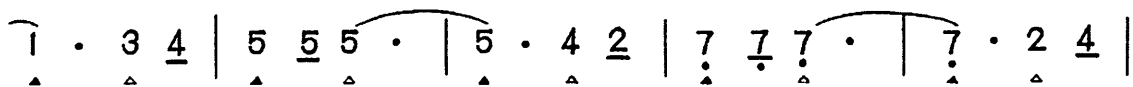
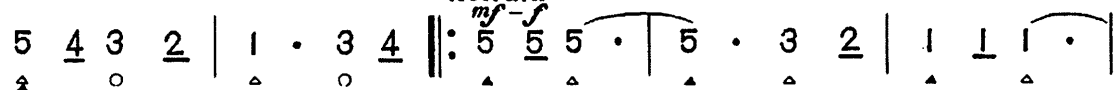
Allegretto mosso

モンパパ
映画「巴里っ子」主題歌

C. Oberfeld



Refrain



ハーモニカは楽器ではないのか 分類も難しいハーモニカ

吉村 則次

日本ハーモニカ芸術協会の試験にも使われる
教育芸術社の「改訂音楽通論」

日本ハーモニカ芸術協会において、主に複音ハーモニカ奏者を対象に、五線譜の理解のための教材として推薦されているものに、教育芸術社発行の「改訂音楽通論」というものがある。同協会の「準師範グレード認定楽典試験」の出題範囲として、「音楽通論(教育芸術社)の第1部、第2部および数字の書き方」とあるとおり(同協会の「口琴芸術」2014年夏号 p 25) 同書を読んで理解しておかなければ、その試験には通りにくいというものである。また、日本ハーモニカ芸術協会の関西での研修会も、この本が教材となっている。(案内及びカレンダー参照)

この本は、五線譜の楽譜を理解するのに、非常に適切な書籍だと思い、私の生徒にも薦めている。

残念なのは、「資料1」として「楽器のいろいろ」という項目があるが、その中には「ハーモニカ」は一切触れられていないことである。

われわれは、ハーモニカは楽器だと思っているが、発行元(著者は、教芸音楽研究グループ)は、ハーモニカを楽器としては認識していないようである。大正琴も載っていない。ギターやサクソホン、マンドリンは掲載されている。

市中に売られている楽器に関する本では、ハーモニカはどういうふうに扱われているだろうか。多くを調査するわけには行かないが、書店で「楽器図鑑」的な本や、「音」「音楽」に関する書籍を立ち読みしても、ハーモニカを扱っていないものが殆どである。小学校向け音楽の教科書では1ページ、多くても見開きの2ページに扱われていたと記憶する。

それでは、ハーモニカは、どんな楽器か
吹奏楽器ではない、木管楽器でもない、金管

楽器でもない。打楽器でもない。「日本の楽器」でもない。音を出す方法により分類するとすれば、リード楽器という分類を設けるべきであろう。

フリー・リード(日本語では自在弁)といわれる、一辺が固定され、他の辺が上下自由に動く金属片の振動により音を出すもので、ハーモニカ、アコーディオン(バンドネオン等も含む)、及び鍵盤ハーモニカの3種がこれに当たる。足踏みオルガン、笙も同じ種類の発音体を持っているが、笙(この本では「日本の楽器」の中に入れてられているが、正しいか?)は特定の場所にしか出現しないし、足踏みオルガンは、もう絶滅してしまっている。博物館に行かなければ見ることができない。

上記「改訂音楽通論」では、楽器を次の6種に分類している。

擦弦楽器 撥弦楽器 木管楽器 金管楽器
打楽器 鍵盤楽器

音を出す方法を基準に見れば、ハーモニカは、これらのどれにも属さない。この本では、パイプオルガンも鍵盤楽器に入れられており、楽器の外見で区別しているようである。

もし外見で区分するのなら、鍵盤ハーモニカも鍵盤楽器に入れなければならないと思う。

鍵盤の形をしていても、ハモンドオルガンやシンセサイザーのように、音を出す方法が電気である場合は、「電気楽器」として分類している書籍がある。

また、外見では、木琴、ヴィブラホンも鍵盤楽器に似ている。ピアノは、音を出す方法で見ると、木琴等と同様、打楽器である。ちなみに、レコード屋では、ハーモニカをどのように扱っているだろうか。

タワーレコードの中でも大きい店では「ハーモニカ」という区分を作って、複音、クロマチック、ブルースハーブのすべてのハーモニカの

CDを入れているが、小さいレコード店では、「ハーモニカ」の区分はなく、「その他の楽器」または「吹奏楽器」の中に入れられている。

レコード店ではなく、楽譜を扱う店では、「ハーモニカ」という区分を設けてくれているのでありがたいが、その中では、複音もクロマチックもブルースハーブも、いっしょくたである。

なぜハーモニカを楽器として認めてくれないのか

我々ハーモニカ愛好者は、なぜハーモニカを楽器として認めてくれないのか、けしからん、という前に、ハーモニカを一般の方に楽器として認めてもらい、楽器の図鑑にも掲載してもらうには、どうすればいいかを考える必要がある。

オーケストラ、管弦楽、ジャズバンド等、ステージや人前で「一般的」に見ることができる楽器は、問題なく楽器として認識してくれると思う。ハーモニカや大正琴は、そういうものではないので、「楽器」からは、漏らされている。ハーモニカが、他の楽器に混ざって演奏し、一般のかたの人目に触れるようになればいいが、現実には、その機会は非常に少ない。

変ホよりE♭

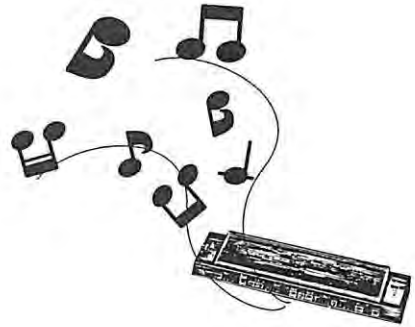
上記「音楽通論」は、五線譜を使用しての音楽の理解には、易しく書かれており、非常に役立つ書籍ではあり、「楽譜の読み方」「楽典」の中で、どれがいいかと尋ねられれば、私は、これが一番だと薦めたいと思う。

ハーモニカを楽器として認めていないという点以外に、一つ気になるのは、音の読み方が、ほとんどが日本語でなされていることである。文部科学省の指導かなにかがあるのかも知れないが、音楽を親しんでいる多くの方は、英語式による呼び方に慣れている。特にポピュラー、ジャズ系の方は、英語式による呼び方が普通だ

と思っている。

たとえば、変ホと言われるより、E♭という方がピンと来るし、属七というより、ドミナント・セブンと言われる方が、すぐ思い浮かべることができる。音楽に国境なし、と言って、海外の方といっしょに演奏したり、話したりする機会もあると思うが、そのためにも、世界で一般的に使われている呼び方も、知っておく必要があると思われる。

なお、クラシック音楽では、コードの表示はないが、ポピュラー音楽ジャズ音楽では、Chord (=和音)の表示(C7, Am, AbM7等)は、ほぼ100% C D E F G A B C表記でなされており、



世界の国々では、ほんの一部のみに do re mi 表示が採用されている(イタリア?)。

我々も 1 2 3 4 5 6 7 表示、ドレミ(通常は移動ド方式)の読み方とともに、C D E F G A B C 表示(これは固定ド方式である)にも慣れていなければならないと思う。

♪ ハーモニカが上達するための大切なこと (58) ♪

全日本総合音楽院・院長 世界ハーモニカ連盟日本支部 (F・I・H) 役員 池田 輝樹

(21) ハーモニカ界で忘れられない方たち

私はこれまで、いろいろなハーモニカの方々にお逢いして来ました。ものすごく上手な人達にも大勢、お逢いして来ましたのでそれらのお話をさせていただきます。

年代順やアイウエオ順等に本当は整理すれば良いのですが、それらは後からすることに致しまして、なるだけ簡単に述べてみます。なお、これからのお話は私自身が見聞きしたのですから事実です。なんらかの参考にしていただければ大変幸いです。なお、私のお話をプラスしていただいて事実をつけ足していただければ大変嬉しいことです。

ハーモニカの上達を心がける方々は視野を広く持つことです。ハーモニカは特に先生方によって奏法や得意な曲目等々が異なります。同じ流派の人たちばかりと交際しておりますと、奏法が固定化してしまいます。特に複音ハーモニカを主流にしている方々は特に留意して欲しいのです。又、楽譜は言葉等々と同じようなものだと思いますので、数字譜から早く脱却をして他の洋楽器等と同じ五線譜に切り変えることが大切です。今まで、何度も云いますが、数字譜を全面的に否定するものではありません。数字譜も五線譜も両方使えるのもっと便利なのです。いつか他述したいと思いますが数字譜は1人ではないでしょうが、フランスのChev(シェヴェ)等が創始したとする説が有力です。イギリス人の John Curwen(ジョン カーウェン) もかかわっているとされています。いつか、数字譜に関しましては詳述したいと思っております。

ともかくハーモニカ上達の方法の一つとして、いろいろな違った奏者の方々を知るといことは大変大切なことだと思うのです。

私の知っているいろいろな奏者の方たちのお話から、何らかの参考になることが得られれば大変嬉しい限りです。又、もっと知りたいと思った方はいろいろ調べてみてください。

なお、ここでは敬称は略させていただきます。又、個人保護法等から詳細は述べません。ただ、ハーモニカ界にとって大変貴重なことを中心に書いていきたいと思っております。

◎高瀬晋一

私の手元に一冊の貴重な本があります。

Collection for Small Group <小グループのための合奏曲集>

発行所 (株)新興楽譜出版社

発売元 (株)トンボ楽器社 ¥600.-

・発行日は記入されていません。昭和40年前後頃ではないでしょうか。

表紙と目次等を次に掲載しておきます。

音楽の中の分野の違ういろいろな名曲をジャズ的に編曲をしております現在でも色あせることなく、演奏会等に使用出来るのではないかと思っております。

高瀬晋一さん、通称、高瀬の晋ちゃん、私とは相性が良いと云おうか、良い人で昭和30年前後頃だったと思いますがおつき合いをさせていただきました。アルト・ホルン・ハーモニカの名手でパンブルギーやウクライナ民謡のミンカの変奏曲 (VARIATIONS ON A UKRAINIAN THEME[Shōne Minka]) の16分音符の速いところや6度、7度の飛躍音のところを、ものすごい速さで見事に演奏しておりました。森本恵夫さんのハーモニカ・アンサンブルのトリオ等でコード・ハーモニカの吉野さん(南部・ハーモニカ出身)等と一緒にでした。トランペットの名手でもありまして、たしか日劇のオーケストラでセカンド・ペット (2nd Pet) を奏していたらしいのです。

2nd Pet というのは技術的にも優れていて高音が楽に出せる人等と云うことが通説です。

私がアルバイト的にキャバレーでコンボ・バンドの仕事をしていた時に、私が誘ってトランペットの演奏をしてもらいました。地方公演(高松市)なので楽器は持っていないので貸してあげました。マウ



■ダニューブ河の謎	(J. Ivanovici)	3
■いとしのクレメンタイン	(American Folk Song)	6
■ある晴れた日に	(G. Puccini)	14
■バダム・バダム	(H. Contel - N. Glanzberg)	20
■浪路はるかに	(H. Tobias - P. Wenrich)	53
■世界は二人のために	(いずみたく)	28
■浜辺の歌	(成田為三)	34
■ラ・パロマ	(S. Yradier)	37
■枯葉	(J. Kosma)	48
■ラ・クカラチャ	(Mexican Folk Song)	54
■ブルー・ダニューブ	(J. Struss)	60
■野バラ	(H. Werner)	68
■思い出のサンフランシスコ	(D. Cross - G. Corp)	73
■さくらさくら	(日本民謡)	76

	COLLECTION FOR SMALL GROUP (小グループのための合奏曲集)	
	編著者——高瀬 晋一 発行者——草野 貞二 制作——新興楽譜編集部 <small>日本音楽著作権協会承認No. 432746</small> <small>※楽譜集より無断で楽譜の転載・複製等は 固くお断りいたします。</small>	発行所(株)新興楽譜出版社 東京都千代田区神田町2-13 電話(292) 2861(代) 振替口座 東京98293 発売元(株)トンゴ楽器社 <small>東京都足立区 電話 11142</small> <small>電話(833) 0376-0572</small>
定 価 600円		

ス・ピース(吹口)は奏者の大抵の方々は持ち歩いております。高瀬さんも持ち歩いておりました。簡単にコンボ・バンドの連中とコード等の打合せをして演奏しました。アルト・ホルン・ハーモニカと同様、見事な演奏でした。

なお、前述のコード・ハーモニカの吉野さんは南部先生の門下で、大変芸達者な方で歌舞伎役者の真似等をさせれば天下一品でした。喜劇役者として売出しでも良い位の見事な方で、性格的にもおとなしい良い方でした。東京渋谷区の本町に住んでいたと聞きました。

高瀬の晋ちゃんは都内の王子の方に住んでいたと聞きました。とにかくハーモニカ界にとって大変惜しい方を亡くしたものだとして残念に思っている次第

です。

最近、アルト・ホルンやバス・ハーモニカ等の独奏をする方が少ないように思います。私は大学時代にピアノ伴奏付でアルト・ホルンの独奏をよくしたものです。“Saint-Saënsの動物の謝肉祭より”白鳥”等を独奏しました。眞野泰光(第2代目のトンゴ楽器社長、全日本ハーモニカ連盟前会長、菅原明朗さん等に音楽を習った方)さんが演奏会で私のアルト・ホルンの独奏を聞いて、大変おほめにあずかったのがつい昨日のこのように思われます。私が香川大学の音研にいた頃なので、昭和26年か27年頃だったように思います。

みなさん、アルト・ホルンやバス・ホルン等々の独奏も楽しんでみませんか。

兵庫県声の図書赤十字奉仕団主催第 25 回交流会に参加して

垂水ハーモニカ友の会 代表 澁山 晴夫



垂水ハーモニカ友の会の第 10 回発表会を 1 週間後に控えた、2014 年 11 月 23 日（日）に、神戸市中央区脇の浜にある日本赤十字病院東棟の 7 階で、全盲障害者を対象にした「兵庫県声の図書赤十字奉仕団」主催の、第 25 回交流会が開催されました。東は東京から、西は岡山から、視覚障害者が一堂に集まり交流をする、障害者約 60 名とサポーターやボランティアの世話役等を含め、総勢約 130 名程度の会が開かれました。

我々友の会には、会員と交流会ボランティア世話役の知り合いを通じて、ハーモニカ演奏依頼があり、視覚障害者相手の演奏会は初めてで不安もありましたが、9 月 22 日（月）に事前打ち合わせを行い演奏会を承諾しました。

その後、数回担当者と連絡を取りながら演奏内容を詰める中で、同じ障害者である尼崎ハーモニカエコーズ所属の宇根山義弘さんへの参加をお願いすると、ソロ演奏を快く引き受けただけになりました。

また、友の会での出演希望者を募ったところ、会員数 32 名の内半数以上 18 名の参加希望がありましたが、前日 1 名が風邪にて欠席となり、宇根山さんを含め 18 名の参加になりました。

演奏会は、13 時 10 分から開始し、合奏曲 6 曲、



歌う曲 2 曲、宇根山さんのソロ 1 曲と最後に子どもも来ていましたので、要望に応え合奏曲「鉄腕アトム」を演奏しました。この間に異なった種類のハーモニカ 6 種を集め、点字の説明書きを張り付け、障害者の間を回覧しました。また、質問時間を取り 10 問ほど質問を受け付けましたが、女性が多かったこともありペンダント型のハーモニカに興味があるようでしたが、バス・コード・ペンダントと大きさや形状が全く違うハーモニカに驚いた様子でした。

合奏曲の演奏では、客席から歌声が聞こえてきましたので、途中から歌詞を誘導しながら会場の皆様方に歌っていただきましたので大変喜ばれ、予定時間を約 10 分オーバーして終わりました。

全盲の方を相手のハーモニカ演奏は、友の会発足 15 年以來初めてでしたので、良い経験になり、この経験を今後生かしていきたいと思いつつながら筆を置きます。



韓国 in (Pusan) 交流旅行のご案内

主催 関西ハーモニカ連盟有志

4年前、釜山への交流旅行に関西から30名程参加しました。韓国ハーモニカ連盟の皆様から温かいおもてなしを受け、素晴らしい交流演奏会にも出演しました。2年前には釜山から関西へお越し頂き、関西の仲間と共に中国交流旅行に参加いただいて、日韓の親睦も、さらに深まり今年は再び関西から釜山へ交流旅行を致します！日韓ハーモニカ仲間の楽しい親睦の交流旅行へお友達お誘い合わせて皆様のご参加をお待ちしています



プランのご案内

9月11日(金)～9月14日(月)

参加費用 98,000円

《朝食3回・空港税・演奏会参加費含む》

※宿泊は二人一室です

※一人部屋希望者は20,000円追加

募集人数 30人前後

【申込み締切7月末日】

★スケジュール&宿泊

- 9/11(金) 9:25関空集合(11:25発) 12:50プサン着 市内観光 韓国民俗館宿泊(宴会)
- 9/12(土) 《民俗館で韓国の伝統文化体験》 ハーモニカ演奏会 釜山の皆さんとの懇親会 《釜山イビスホテル泊》
- 9/13(日) 一日バスツアーで名所めぐり 《釜山イビスホテル泊》 ※全員一緒に外食・韓国焼肉予定
- 9/14(月) 半日観光(金井山城・新世界デパート) ブルコギ昼食 プサン16:55出発 関空18:15着

※ 参加ご希望の方は、申し込み用紙にご記入の上、パスポートのコピーをつけてお申込下さい！

※ 参加費の中に9月13日のバスツアーと外食費は含まれていませんので現地で徴収かも知れません

参加申込書

住所

氏名

TEL

【お問合わせ・お申込先】 梁木 進 TEL 072-286-4889

皆様のご参加を
お待ちしております！



【参加費お振込み先】 郵便振替口座 00910-6-242111

口座名 梁木進 金額 ¥98,000

第四のハーモニカ横丁発見

十返肇、伊藤整、高見順、火野葦平、江戸川乱歩、亀井勝一郎、坂口安吾らも通っていた、新宿のハーモニカ横丁、しかし今はもうない

吉村 則次

私は、今まで、3件のハーモニカ横丁、ハモニカ横丁を、この会報に掲載して、皆さんに紹介してきた。

2010年4月号裏表紙で青森県の八戸（はちのへ）のハモニカ横丁、2013年4月号p38で東京吉祥寺のハモニカ横丁、2014年7月号p44で横浜のハモニカ横丁、2015年1月号p41で再びテレビで放映された吉祥寺のハモニカ横丁。

今回、第四のハーモニカ横丁が、「あったことが」分かった。次のとおり。

「わが街 新宿」より部分転載

紀伊国屋書店 2014/12 刊（初版は34年前の昭和56年、1981年刊）、

著者 田辺茂一（紀伊国屋書店の創業者、明治38年(1905年)生まれ、昭和56年(1991年)没）

終戦の歳の師走ちかくなると、新宿駅東口のあたりには、スタレやベニヤ板で囲んだ、飲み屋の屋台が並び、長い椅子などを配して、店屋風の構えにした。…櫛の歯のように並んだ店を、人々はいつの間にか、ハーモニカ横丁と呼ぶようになった…。ハーモニカ横丁時代という一時期は、今日において回想すると、私自身にとって、短い期間ではあったが、何んともいえぬ一時期であった。

かつて数年前、私は「海」という雑誌の特集で「ハーモニカ横丁」という題名の五十枚ほどの小説を発表した。（1971年7月号）。

この小説の中で、この横丁に娼集（いしゅう）した人々の名を、百人ちかくリスト風に挙げているが、重複するから、そのなかの物故者だけを拾ってみると、

十返肇、伊藤整、長谷健、高見順、火野葦平、吹田順助、梅崎春生、豊田三郎、江戸川乱歩、

青野季吉、亀井勝一郎、内田斗夢、池島信平、塩田良平、成瀬正勝、辰野隆、浅見淵、丸岡明、谷崎精二、田中英光、坂口安吾、古田晁、立野信之、野上彰、木山捷平・・・と大勢いる。

私が初めて、ハーモニカ横丁界限に出没するようになったキッカケは、詩人の江口榛一に誘われて「梅崎春生がいるよ」と云われて、武蔵野館（吉村注、映画館）裏のスタレで囲った、床几風の腰かけのある「魔子の店」というのにでかけたのが最初である。・・・

私は、毎夜の「ハーモニカ横丁」廻りの皮きりを、だいたい「五十鈴」にきめていた。

以下は、同著の中の、梶山季之氏の文から。

ハーモニカ横丁の夢

『その後、二年ぐらいいして来てみると、今では懐かしき思い出となった、ハーモニカ横丁が建っており、カストリ焼酎をブドー酒で割って飲む方法を、さっそく教わったような記憶がある。私はこのハーモニカ横丁で、酒の洗礼を受けたと思っている。

…夕方になると、私はためらわず、ハーモニカ横丁に行った。

このハーモニカ横丁で、作家や評論家の顔に行き合わせると、なんとなく、儲け物をしたような気がしたものである。

草野心平氏の「火の車」（吉村注、ハーモニカ横丁にあったある飲み屋の名前）だったかが、出現したのは、あれは何時（いつ）ごろだっただろう。ハーモニカ横丁は夜になると、いつも道路がじめじめと濡れ、異臭がした。酔っぱらい共が、駅のトイレまでいくのを面倒臭がって、ジャージャーやるからであろう…。

誰かと誰かがハーモニカ横丁のマダムに惚れ、ある新人作家にさらわれて口惜しがった、という話だの、私はハーモニカ横丁で、いろんな知識

とゴシップを授けられたことだ。・・・でも、終戦後の新宿も、ハモニカ横丁があった頃の新宿も、最早ない。

文壇のシゴキ部屋だとか、下士官室といわれたハモニカ横丁は消え、木造二階建なりし紀伊国屋書店も美しいマンモス・ビルとなった。』

詳細は、上に紹介の書籍を購入して読まれるといいと思います。

ほかに、「ハモニカ横丁」をご存じの方がおられたらお知らせください。

西日本の各地には、ないのでしょうか。

ジョー・パワーズが大阪に

吉村 則次

アメリカのクロマチック奏者、ジョー・パワーズさんが、12月25日箕面市のメイプル・ホール小ホールでライブをされた。関西では、知る人のみが知っているという方で、知らないひとが多いのですが、箕面のフラメンコ教室や、豊中市のレストラン等が組織する団体の主催らしく、満席であった。

事前にハモニカ団体にも連絡がなく、突然ともいえる知らせだったが、クロマチック愛好者は、当連盟の梁木進さんの勧誘や、12/7の徳永教室発表会で配ったチラシのおかげで、15

名くらいが来られていた。ジョー・パワーズのクロマチック・ハモニカ及びブルースハーブの演奏は一流であり、これに加え、地元の方のフラメンコダンス、フラメンコギター、ジャズボーカルも含めた楽しいクリスマスコンサートであった。



ジョー・パワーズが大阪に

ながら川ええんか（ハモニカ依存症の歌）
吉村 則次

ハモニカを吹きながら
テレビを見る

テレビを見ながら
パソコンを打つ

パソコンを打ちながら
妻の愚痴を聞く

妻の愚痴を聞きながら
CDを聞く

CDを聞きながら
テレビを見ながら

愚痴を聞きながら
ハモニカを吹く



2014.12.27 城南新報

城南新報
2014年12月27日(土)

ハーモニカ「セゾナ」演奏会

宇治市の西小倉コミセンで毎月第1・3火曜午後活動している「ハーモニカサークル「セゾナ」(高木宏会長、13人)が、このほど特別養護老人ホーム「ヴィラ鳳凰(前川貴司施設長)・宇治里尻」で演奏会を開き、哀感

あふれるサウンドを響かせた。同サークルでは、関西4府県に所属するハーモニカ連盟理事を務める保理江元子さんの指導を受けながら様々なジャンルの楽曲を練習し、市内の福祉施設を慰問しているほかイベントにも出演。

今年もクリスマスシーズンに白川明星園など計4施設で演奏会を開いた。ヴィラ鳳凰では、ひととき大きなコードハーモニカを持った保理江先生を含む10人がサンタ帽を頭に被って登場。高木会長進行の

もと、きよしこの夜、けし、クリスマススムー、シンケルベルなどで舞臺を盛り上げた。



サンタクロースの帽子を被ってハーモニカを演奏するセゾナ

先生がコード、バスハーモニカなどを紹介、ナツメロや童謡などを織り交ぜ、合唱5曲を含む20曲を披露し、ディリユーザー30人は郷愁を誘う音色に合わせて口ずさんだ。

凡語

小学校の音楽の時間、ハーモニカは木琴、リコーダーとともに合奏の定番だった。吹いて吸って、音は簡単に出るのだが、抑揚をつけて滑らかに吹くのは難しかったと記憶する。ボケッとかラウンドセルに入れて持ち帰り、学校帰りに歩きながら吹き鳴らしたのは、昭和の一時期的話。鍵盤ハーモニカに取って代われ、しだいに音色は遠くなった。先日、京都文化博物館別館ホールで久しぶりに音色を聞いた。通称睦美さんの木琴演奏会。木琴と同じく、「昭和」を感じる楽器として、京都市出身の国際的なハーモニカ奏者相谷泰扶さんが演奏した。「赤とんぼ」の演奏は聴衆それぞれの郷愁をかき立て、会場は何ともいえない一体感に包まれた。スペインの現代曲は超絶技巧の難曲。哀愁を帯びた旋律で聞かせ、終演後の相谷さんは、興奮気味の人たちに囲まれていた。十数年、本場ヨーロッパで活躍した後

2014.11 京都新聞

に帰国し、現在は東京を拠点とする。同様のソリストはごく少数と聞き、音楽で身を立てる厳しさを思う。鍵盤ハーモニカは、子どもたちが鍵盤学習できる楽器として開発され、1961年に誕生した。かつて口風琴と誤されたハーモニカ。口笛に似た風のように軽やかな楽器は、子どもたちが音楽の楽しさを味わうのにぴったりだった。残念でならない。

提供 保理江元子



ドレミちゃん
© 関西ハーモニカ連盟 2011

ポコ・ア・ポコが紅葉コンサートに!!

和田 惟男



京都府と奈良県の境、京都府相楽郡精華町のけいはんな記念公園内にある水景園の水上舞台で11月23日(日)(16時～17時)に紅葉コンサートが開催され、ハーモニカアンサンブルポコ・ア・ポコが出演しました。当日は小春日和の穏やかな天候に恵まれ、3連休の中日とあって、紅葉狩りの家族連れ等で賑わっていましたが、開演の16時前になると、ハーモニカ関係の皆さんを始め、多くの方々が池の周囲に集まってくださり、少し離れた観月楼や観月橋にもたくさんの方々の姿があり、うれしい限りでした。

当初、広大な場所で、小さなハーモニカの音色がどのように響くのか心配もしましたが、音響のSOUNDCREW KEIHANNAの田中さんの努力下、庭園の隅々までハーモニカの音色が響き渡っていたそうです。

演奏する側の私たちの不慣れもあり、お互いの音がとらえにくく、とまどう場面もあり、リーダーの評価は「今日の出来は65点」と厳しいものでしたが、“来年のポコ・ア・ポコ結成10周年記念コンサートの成功に向けて、もっともっと精進しなければ”と決意を新たにしました。

尚、11月27日(木)には「奈良の眺観のよいレストラン10選」にも選定された「レストラン鹿野園」で、恒例となっている青木・和田ハーモニカ各教室の皆さんや関係の皆さんが一堂に

会してのコンサートを開催しました。

今年も延べ58名がアンサンブル・ソロ合わせて64曲を4時間超にわたって演奏し、お互いの一年間の成果を称えあい、学びあいました。その後、レストラン自慢のバイキング料理をいただきながらの懇親会で、次なる一年の精進を誓いあいました。

ポコ・ア・ポコは、今年(2015年11月21日)に結成10周年記念コンサートを計画しています。詳細はこれからですが、厚木からThe Who-Hooさんを招聘する予定で、翌日にはザ・フーフーさんのハーモニカ研修会などもできないかと考えています。どうぞ、皆さんのご支援・ご教示をよろしくお願いいたします。



訃報

織田太郎さん逝去（お知らせ）

村上 浩一



織田さんが亡くなったらしいという電話を岡村さんから受けたのは昨年12月2日で、高槻の知人から聞いたとの事であった。私自身織田さんとは10月末に電話で話もしていたので、まさかと思いました。

亡くなったのは、11月30日（日）で家族葬は12月1日（月）との事でした。

織田さんのハーモニカ歴は、大へん永く、戦前から活躍されておられました。

私と織田さんの出会いは、1979年（昭和54年）関西ハーモニカ連盟が発足して以来で、特に常任理事になってから常任理事会で10年位ご一緒することがあり、いつも熱心に出席されていました。

1983年（昭和58年）尼崎ハーモニカエコーズ発足時から、殆んど休むことなく、合奏に、ソロに、後輩の指導にあたっておられました。又私が1984年（昭和59年）関西ハーモニカポップス合奏団に入団してからは大変お世話になりました。

織田さんは高槻ハーモニカクラブの編曲と合奏指導も行う一方、バイオリンも堪能で、尼崎市稲葉荘の公民館で、ご自身のアレンジ曲でバイオリン教室も開設されていましたが、その当時から膝関節を痛められ教室を閉鎖されたのを覚えています。

織田さんは、クラシックが好きで、いろいろな曲をハーモニカソロ用やデュエットにアレンジされ、私自身デュオでプレイエルのソナタや

バグダッドの酋長など2人で演奏したのも、なつかしい思い出の一つです。

織田さんは、ご夫人を早く亡くされ、一人暮りで、両膝関節が悪化、約2年前ポップス合奏団も退団して、治療に専念しておられましたが、さぞ大へんだっただろうと思います。

大正生れの先達が、つぎつぎと去って行かれ、大へん淋しく感じています。まだまだ頑張られて、ハーモニカ界の発展のためご尽力願えたらと思っていました。

本当に惜しい方を亡くしました。

心からご冥福をお祈りいたします。

合掌

人情味溢れる人柄 酒巻勇二郎さんを偲んで

山本 健司



酒巻さんの訃報に接したのは、2015年1月8日でした。肝硬変のため入院、病状が急変して2014年12月24日に86歳で世界されました。

省みますと最後にお会いしたのが、2014年11月29日、第10回垂水ハーモニカ友の会発表会後の打上会でした。村上浩一先生・田中祥雄先生等々の招待者と一同に会した際には少し活気がないかな？と感じましたが、まさか亡くなられるとは、びっくりしました。

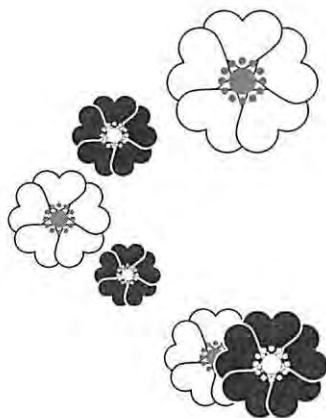
酒巻さんは私どもハーモニカ愛好会の友人として、又「垂水ハーモニカ友の会」の創設者として1999年5月15日、ご多忙な村上浩一先

生にお願いして発足、又先生の教室以外の時間は、出来るだけボランティア活動に専念、明石方面～西宮方面など活発に活動されました。

当初ボランティア活動は会員の参加者が少なく、最低3名の時もありました。又演奏効果が悪いとのことで、明石のリサイクル店でアンプ2台とマイクスタンド2本を購入、しかも自動車に乗せて現場に運ぶ手押し車とアンプ一式を運ぶための木箱を製作するなど工夫しながら、ボランティア活動をやられました。時間の都合やスケジュール変更で、酒巻さんの運転する自動車の中で練習をしたり・・・今思うと懐かしさがこみ上げてまいります。

更に2004年6月の小生との会長引継ぎ時も、今後の展望と合理化のための意見を拝受、会員増加と地域役員とのつき合い等、話は尽きません。又関西ハーモニカ連盟の理事としてお付き合いの大石喜一郎先生・寺村安雄先生・後藤貞男先生等々多くの人物交流があり、小生もご一

緒させて頂いた12年間の永き年月を想うと、今は唯々淋しさと懐かしさと人情味溢れるお人柄を偲ぶ気持ちで、いっぱいでございます。



編集局

「遠くへ行きたい」

浅井 瀧子

ようやく春らしく暖かな陽射しが嬉しい今日この頃、皆さまお元気ですか？春風に誘われ小旅行に出かけてみたくなることはありませんか。「遠くへ行きたい」はふと口をついて出る歌のひとつ。1962年 NHKの「夢で会いましょう」の今月の歌（永六輔 作詞 中村八大 作曲）として作られ、ジェリー藤尾の歌唱でヒットし、第4回日本レコード大賞作曲賞も受賞しています。この歌の「うたばなし」がハーモニカマガジン2010年秋号vol.35に掲載されています。もちろん楽譜もあります。秋号なのに何故「春」

にとりあげたのか？と思われるでしょう。ジャズバラードのような優しく物悲しいメロディは旅愁のイメージもあるし、とマガジンの著者も書かれています。

でも、野や山は、明るい新緑の季節を迎える準備をしています。青春キップを持って「遠くへ行く」のもよし、「近くの公園へ行く」のもよし。

♪遠い街 遠い海 夢はるか・・・。

とりあえず、背中を伸ばして自然の中へ、ポケットにハーモニカ一本持って出かけてみましょうか。

池田輝樹先生の連載「ハーモニカが上達するための大切なこと」が、今回で58回を数える。毎回、参考になることが多い連載だと思って読ませてもらっている。それにしても58回といえ、年4回だから15年目に入っているわけで頭が下がる。何事も続けることが大切だと私は思っている。ずっと続けられるからこそすばらしくなる。それが15年というのだから。

会報「ハーモニー」も203号を数える。歴史の重みを感じている。私もできる限りこの号数を増やしていけるように頑張りたいと思っている。この会報を編集しながら、ハーモニカに関わる人たちの思いや、活動が分かり、それが自分自身の活動に生かされていくのだからこんな有難いことはない。父吉森正隆がハーモニカ吹きだったことに感謝する気持ちが年々高まってくる。

池田先生の原稿の話に戻るが、今月号の58回目の中に私が共感できることを見つけた。「そうそう、その通り」と頷きながら読ませてもらった。だぶるかもしてないがあえてここに記させていただく。

ハーモニカの上達を心がける方々は視野を広く持つことです。(中略) 同じ流派の人たちばかりと交際しておりますと、奏法が固定化してしまいます。(中略) ともかくハーモニカ上達の方法の一つとして、いろいろな違った奏者の方々を知るということは大切なことだと思うのです。

池田先生、いつまでもお元気でこの連載を続けていただきたいと願う一人として、編集後記に記させてもらいました。

もり・けん

関西ハーモニカ連盟

2015年度会費未納者

組織部

浅見 満夫	伊藤 博	入江 章次	笠原 憲孝	河田 照茂
河村しおり	菅 真一	滝川 和子	竹内 克子	谷山 清
田村 栄子	堤大志郎	戸田 万紀	西村 高英	野口小夜子
早川 直也	原 克江	平瀬 光則	山田 良一	山本 郁子
吉武 道子	和田 敏子			

2015.3.11 現在

次号
締切日

次号 第204号 (2015年7月号) の
原稿締切りは **5月15日(金)**、会報編集室必着でお願いいたします。
同封物締切りは6月6日(土) 発行は6月中下旬予定。

関西ハーモニカ連盟 会報 第203号 (2015年4月号)

発行人 吹上 晴彦

編集人 もり・けん

発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室

〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F H・U・N 企画内

TEL 06-6352-8005 FAX 06-6353-1393

e-mail : harmonica@cardandmedia.co.jp

印刷・製本 株式会社カード & メディア



ドレミちゃん
© 関西ハーモニカ連盟 2011

会員異動のお知らせ (2015年04月号) 2015. 02. 20現在

組 織 部 長

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申し出があれば個人情報(住所・電話番号等)を非公開に出来ることが、2004.07.12の常任理事会により決議されました。また、2014.08.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市名までにするとなりました。会報201号(2014年10月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。

新入会

会員番号	氏 名	〒	住 所	受付日	
1	650	岸本登茂子	657-0027	神戸市	2014.12.07
2	651	野村 宏	584-0084	富田林市	2014.12.24
3	652	小北 一夫	662-0869	西宮市	2014.12.25
4	653	細川 昌子	631-0003	奈良市	2014.12.27
5	654	友永久美子	631-0006	奈良市	2014.12.27
6	655	東 孝子	535-0022	大阪市	2015.01.13
7	656	梶田 郁子	(非公開)		2015.01.20
8	657	加門 信志	640-8471	和歌山市	2015.01.20
9	658	山口芙美代	655-0863	神戸市	2015.02.16
10	659	(地外) 樋口千尋	(非公開)		2015.02.16
11	660	(準) 岸元 彩	662-0977	西宮市	2015.02.16
12	団体74	NHKガーデنز			2014.12.31
13	団体75	夢々(ゆめゆめ)くらぶ			2015.01.20

団体名称変更

団体番号	(新) 名 称	(旧) 名 称	
1	5	音大アンサンブル	音大アンサンブル&NHKガーディンズ
2	7	甲子園ハーモニカ教室	コウシエンズ
3	16	山麓ハーモニカクラブ・生駒	生駒山麓ハーモニカ同好会

団体代表者変更

団体番号	団体名	(新) 代表者	(前) 代表者	
1	27	甲風アンサンブル	道下 正裕	定方 勇
2	31	ハーモニカアンサンブル生駒	豊福 十郎	安藤 従子
3	43	茨木ハーモニカファミリー	辻本 昌彦	近藤 義孝

住所記載文字訂正

菊池和子	(正) 吹田市五月が丘 (誤) 吹田市5月が丘	2014年7月発行「公開名簿」P.2
------	----------------------------	--------------------

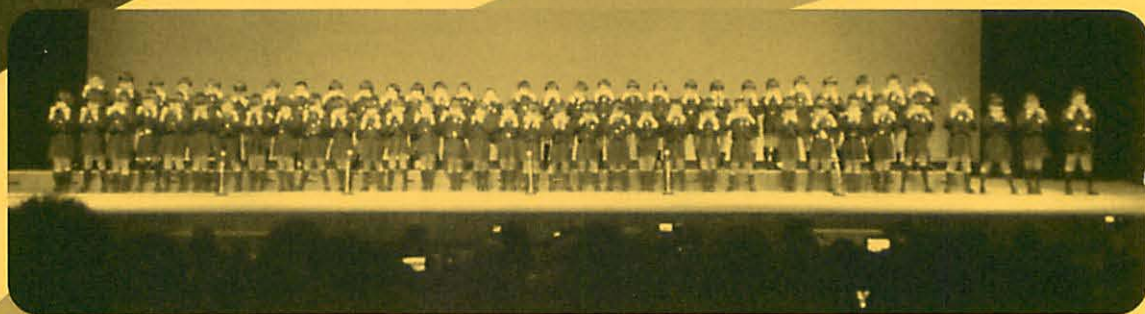
退 会

会員番号	氏 名・名 称	理 由	受付日	
1	300	新野伊代子	団体へ移行	2014.12.24
2	538	藤井 健次	団体へ移行	2015.02.20
3	39	織田 太郎	逝 去	2015.02.20
4	223	酒巻勇二郎	逝 去	2015.02.20
5	421	澤田 敏晴	逝 去	2015.02.20
6	346	河瀬千代子	自己都合	2015.02.20
7	402	七井まゆみ	自己都合	2015.02.20
8	509	羽佐田勝徳	自己都合	2015.02.20
9	557	原山 晴子	自己都合	2015.02.20
10	471	三嶋 幸子	自己都合	2015.02.20
11	297	森浦 和子	自己都合	2015.02.20
12	375	渡辺 忠夫	自己都合	2015.02.20
13	団体29	コープ西宮アンサンブル	自己都合	2015.02.20
14	団体37	ジェームス山ハーモニー	自己都合	2015.02.20
15	団体52	フレンドリーあかし	自己都合	2015.02.20
16	団体68	ならやまハーモニカクラブ	自己都合	2015.02.20

2014年10月12日開催「ハーモニカ祭り」以降の入会者は、2015年度会員とします。

2015.02.20現在の個人会員数は 294名 です。

お願い；住所・住居表示・電話番号・市外局番等 名簿記載事項の変更は組織部へお知らせ下さい。



お子さん、お孫さん、ご家族の方々、親しい仲間、かわいいペット、大切にしているもの、風景など…ハーモニカと一緒に写っている写真を広く会報読者から募集しています。採用分は会報の表紙または裏表紙に掲載いたします。ふるってご応募ください。プリントまたは写真データを郵便またはメール添付便で下記までお送りください。

関西ハーモニカ連盟会報編集室「ハーモニカとワンショット」係
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F H・U・N企画内
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp